

火災通報装置用 音声録音ソフト 取扱説明書

サクサ株式会社

版数 : 1.00 版 作成日: 2016 年 7 月 14 日

はじめに

- このたびは「火災通報装置用 音声録音ソフト」をご利用いただき、誠にありがとうございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

！ご注意

- (1) 本書に記載されている内容の一部または全部を無断記載・無断複写することは固くお断りいたします。
- (2) 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本製品の故障や誤動作、停電あるいは、天災などにより、本製品が使えなかったことによる付随的損害保証については当社では、一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- (4) 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のお問い合わせ窓口にお申し付けください。

- ・本文中における記載の会社名と商品およびロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Microsoft Windows 7、Microsoft Windows8.1 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

- ・本製品をインストールしたパソコンは、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。

本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本製品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去または変更願います。

目 次

はじめに	1
目 次	2
機能説明	4
1. システム概要	4
2. システム構成	4
3. システム仕様	5
4. インストール	7
4-1 インストールする	7
4-2 アンインストールする	12
4-3 旧ソフトから音声データを移行する	14
5. 火災通報装置用 音声録音ソフトを起動する	17
6. 物件を登録／操作する	18
6-1 物件を新規登録する	18
6-2 物件を選択する	19
6-3 物件を検索して選択する	19
6-4 物件を削除する	21
7. 音声データを登録／操作する	22
7-1 マイク／ライン入力から音声を録音する	22
7-2 既存のWAVファイルから音声データを作成する	25
7-3 登録した音声データを削除する	28
7-4 登録した音声データを再生する	29
8. ROMライタ用のデータを作成する	30
9. 火災通報装置経由でROMパックへの書込／読込を行う	32
9-1 「書込／読込」画面を表示する	32
9-2 作成した音声データを不定フレーズとしてROMパックに書き込む	33
9-3 ファイルを選択して不定フレーズをROMパックに書き込む	35
9-4 不定フレーズ書き込み作業手順	38
9-5 ROMパックの不定フレーズを読み込む	41
9-6 不定フレーズ読み込み作業手順	44
9-7 不定フレーズを再生する	47
10. 物件情報の保存先を変更する	49
10-1 「保存先設定」画面を表示する	49
10-2 作業フォルダを選択する	50
10-3 保存先の変更	50
11. 入力ソース／ボリューム／ディレイ時間を設定する	52
11-1 「録音設定」画面を表示する	52
11-2 録音ソースを変更する	53
11-3 ボリュームを変更する	53
11-4 録音開始ディレイ時間を変更する	53
12. ポート(RS-232C)を設定する	54

12-1 「ポート設定」画面を表示する	54
12-2 ポートを変更する	54
13. ソフトバージョンを確認する	55
14. 火災通報装置用 音声録音ソフトを終了する	55
【保守サービスのご案内】	56

機能説明

1. システム概要

本システムは、SDE-204F(4)、及び、SD-205F(以降、火災通報装置とします)にて使用する音声データの作成・登録を行うシステムです。

本システムで作成した音声データは、火災通報装置の音声通報時に使用する不定フレーズとしてROMパックに保存します。

ROMパックへの不定フレーズの保存は、ROMライター付属のツールを使用してROMライターへ転送し、ROMライターからROMパックへ書き込む方法と、本システムとSD-205Fをシリアルケーブル(RS-232Cストレートケーブル)で接続し、SD-205F経由で書き込む方法があります。

※ROMパック：音声通報の不定フレーズを保存するメモリです。

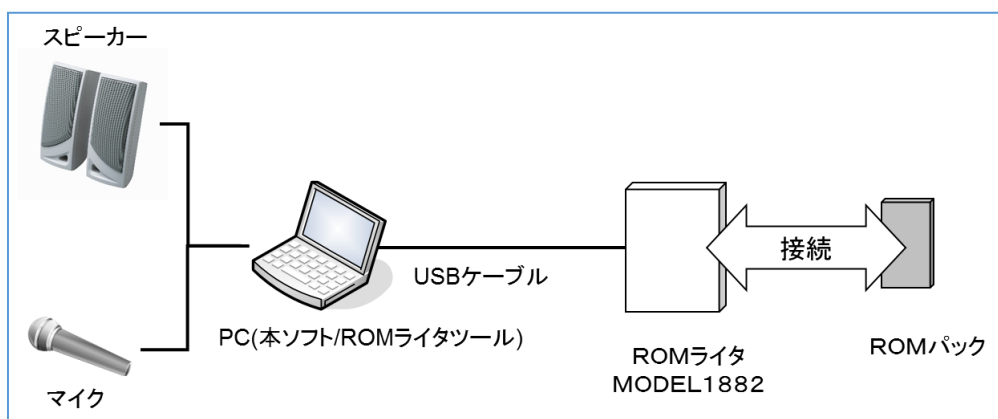
<制限事項>

※本ソフトにはテキスト入力による音声合成の機能はありません。

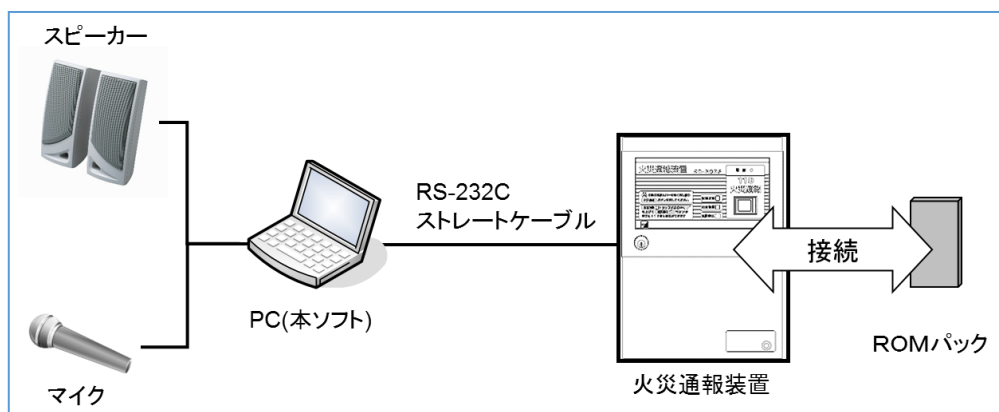
※不定フレーズとして使用する音声は、必ず「発声が明瞭で語尾を明確に強調した口調の女声」で作成してください。

2. システム構成

<ROMライターとの接続イメージ>



<RS-232Cストレートケーブルを使用した接続イメージ>



※本構成はRS-232Cストレートケーブルが接続できない火災通報装置には適用できません。

3. システム仕様

CPU	Windows 7、Windows 8.1が動作可能なもの
メモリ	2GByte以上（OSが正常に動作すること）
ビデオカード	1024×768ドット65535色以上 表示可能なビデオカード必須
モニタ	1024×768ドット65535色以上必須
ディスク容量	HDD 1GB以上の空き領域 ※登録する物件数により異なる 例として、1GBの空き領域がある場合は約1000物件登録可能
	CD-ROM(ROMライターインストール用)
RS-232C	1ポート（※1）（※2）
USBポート	USB 2.0/1.1（※3）
OS	Windows 7（64ビット）
	Windows 8.1（64ビット）

※1 RS-232Cストレートケーブルが接続できる火災通報装置のみ使用します。

※2 火災通報装置経由でROMパックへの不定フレーズの書き込み、及び、読み込みを行う場合に使用します。

ご使用のPCにRS-232Cポートがない場合は、USBシリアル変換ケーブルで代用可能です。

使用ケーブル：D-SUB9ピン メス-メス ストレートケーブル

※3 ROMライター経由でROMパックへの不定フレーズを書き込む場合に使用します。

<ROMパック仕様>

品名：EPC-IV、または、RP-5

<ROMライター仕様>

メーカー名：ミナトホールディングス株式会社

型式：ユニバーサルプログラマ MODEL1882

※ROMライター(MODEL1882)のWindows8.1対応バージョンはVer3.04以上です。

バージョンアップを行う場合は、ROMライターの購入元にお問い合わせください。

<制限事項>

本アプリケーションはPCにインストール済みである、ソフトCODECを使用してPCM音声の生成を行うため、以下のオーディオCODECがインストールされていない場合には音声の作成が行えません。

CODEC名	説明
μ-Law CODEC	Microsoft CCITT G. 711 Audio CODEC(msg711. acm)
変換 CODEC	Microsoft PCM Converter

※基本的に当該CODECは Windows 7、及び、Windows 8.1 のPCに標準でインストールされています。

以下の方法でご使用のPCに当該CODECがインストールされているかを確認することができます。

[インストール済みCODEC確認方法]

Windows Media Player の「ヘルプ(H)」⇒「バージョン情報(A)」⇒「テクニカル サポート情報」にインストールされているCODECの名前が表示されます。

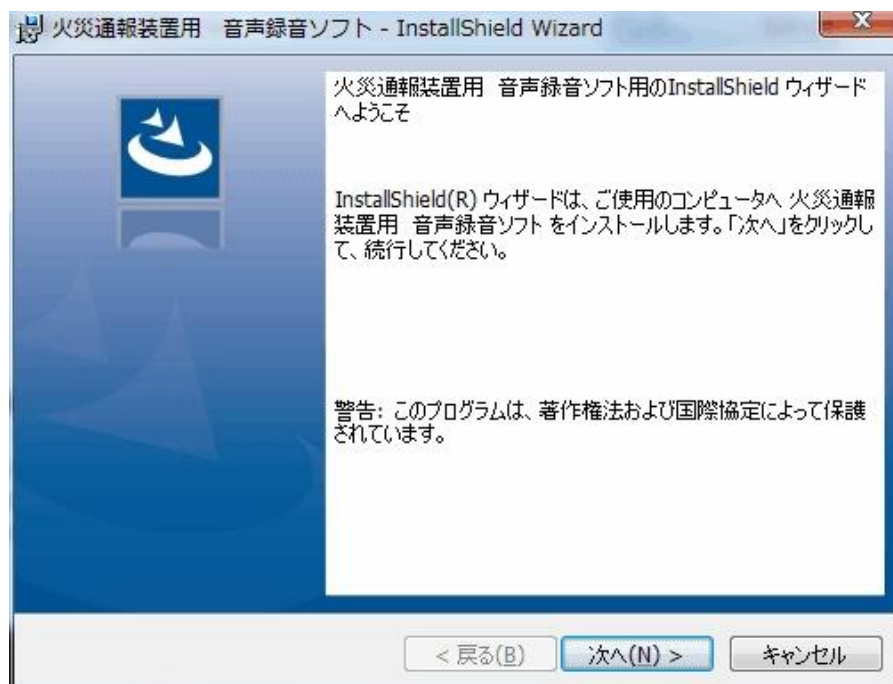
「ヘルプ(H)」が見つからない場合は、「整理(O)」⇒「レイアウト(L)」⇒「メニューバーの表示(M)」にチェックをいれると「ヘルプ(H)」が表示されます。

4. インストール

4-1 インストールする

本システムを使用するにあたり、火災通報装置用 音声録音ソフトのインストールを行います。

- (1) 火災通報装置用 音声録音ソフトインストールCD内の「setup.exe」を起動します。



○ インストールを開始したい場合

「次へ(N) >」ボタンをクリックするとインストールを開始します。

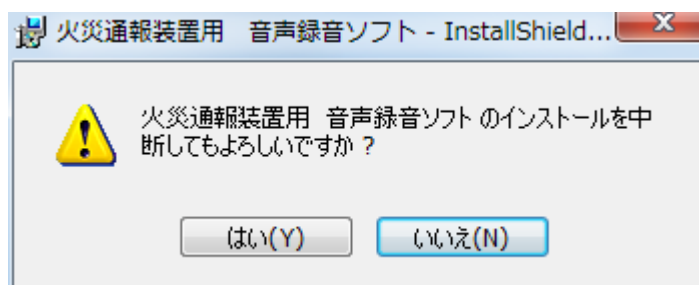
- (2) 以降の手順に従いインストールを行ってください。

○ インストールを取り消したい場合

「キャンセル」ボタンをクリックするとインストールの取り消し画面を表示します。

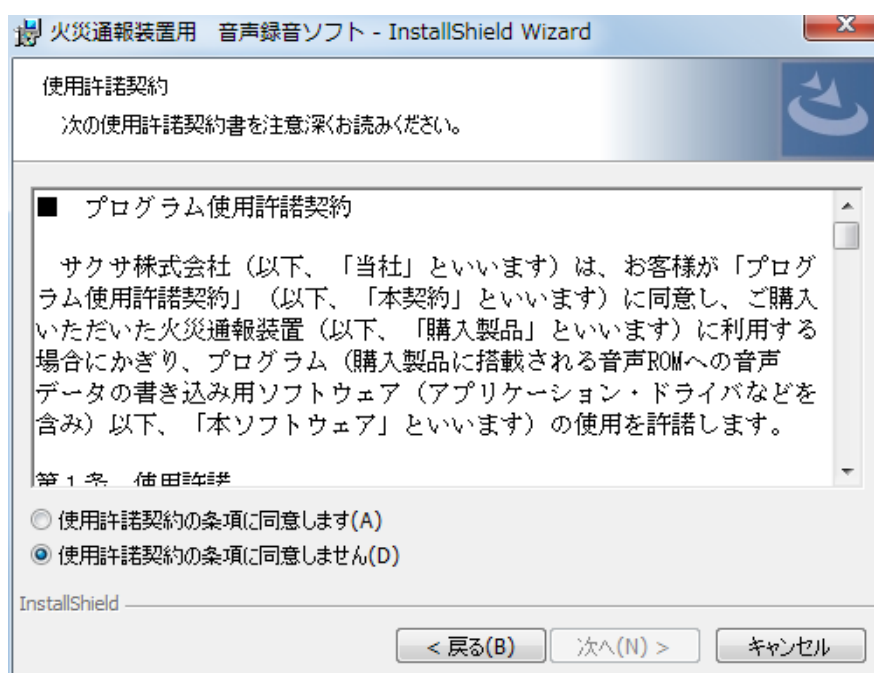
インストール取り消し画面にて「はい(Y)」ボタンをクリックするとインストールを取り消します。

<インストール取り消し画面>



(2) 使用承諾書に同意します。

この書類には重要な情報が記載されています。本ソフトを使用する前に必ずお読みください。



○ 使用承諾書に同意する場合

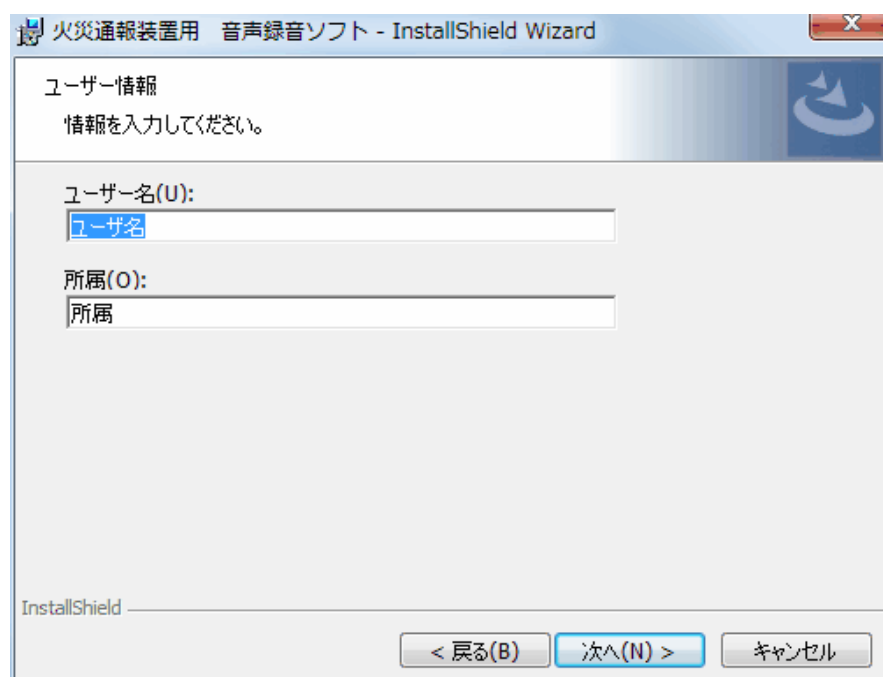
「使用承諾契約の条項に同意します」を選択して「次へ (N) >」ボタンをクリックします。

○ 使用承諾書に同意しない場合

「キャンセル」ボタンをクリックするとインストールの取り消し画面を表示します。

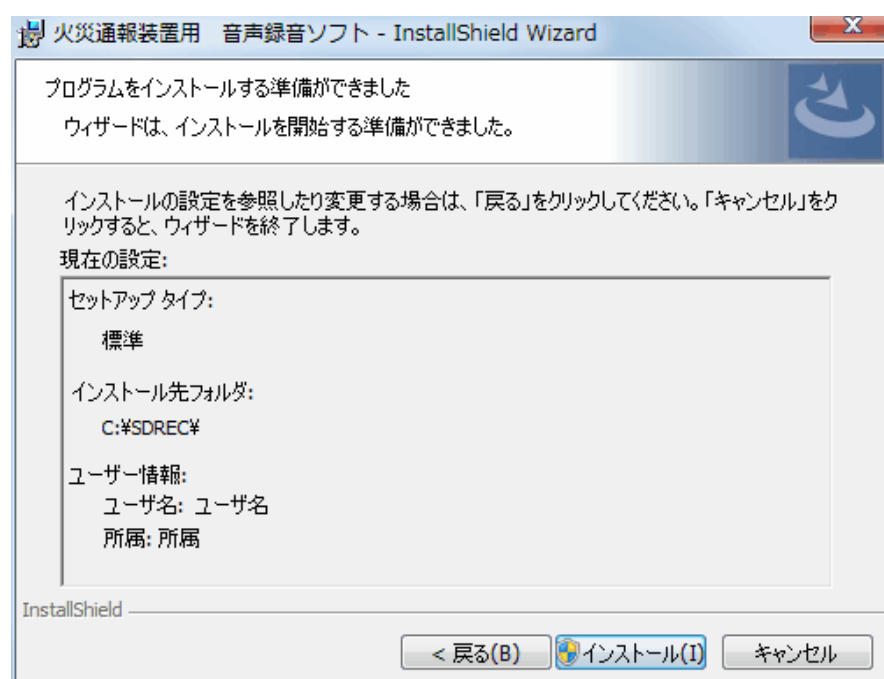
インストール取り消し画面にて「はい(Y)」ボタンをクリックするとインストールを取り消します。

- (3) ユーザー情報を入力します。



「ユーザー名」と「所属」を入力して「次へ (N) >」ボタンをクリックします。

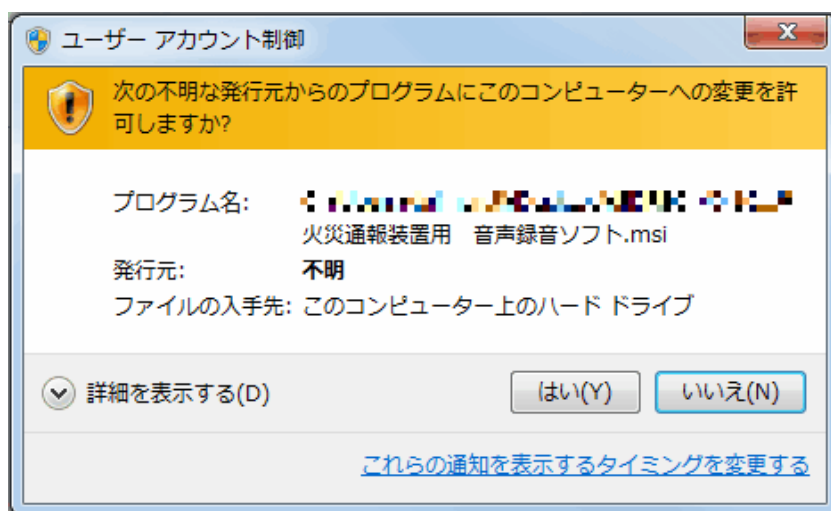
- (4) 設定内容を確認します。



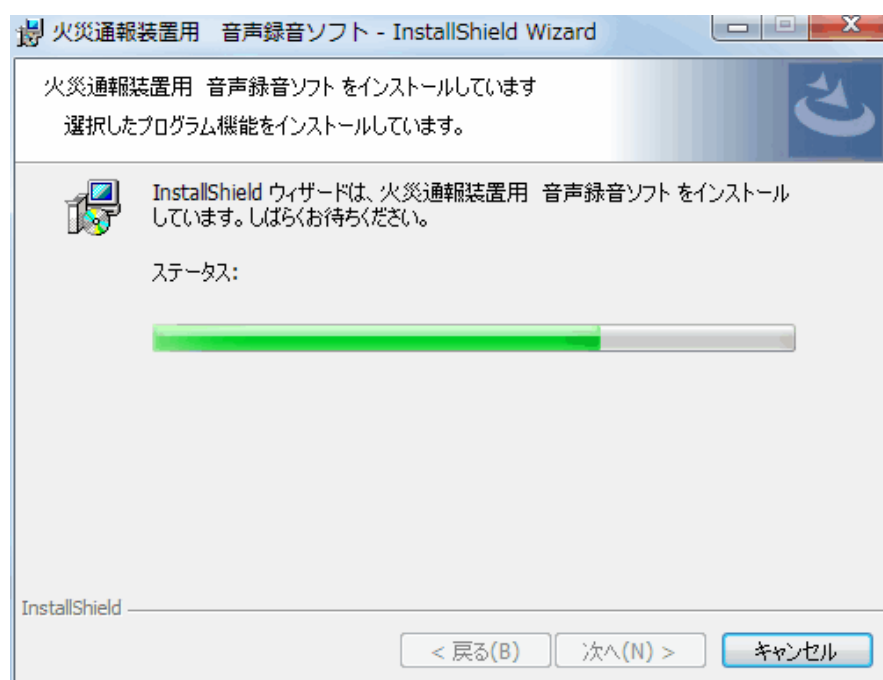
設定内容を確認して「インストール (I)」ボタンをクリックします。

○ 下記の画面が表示された場合

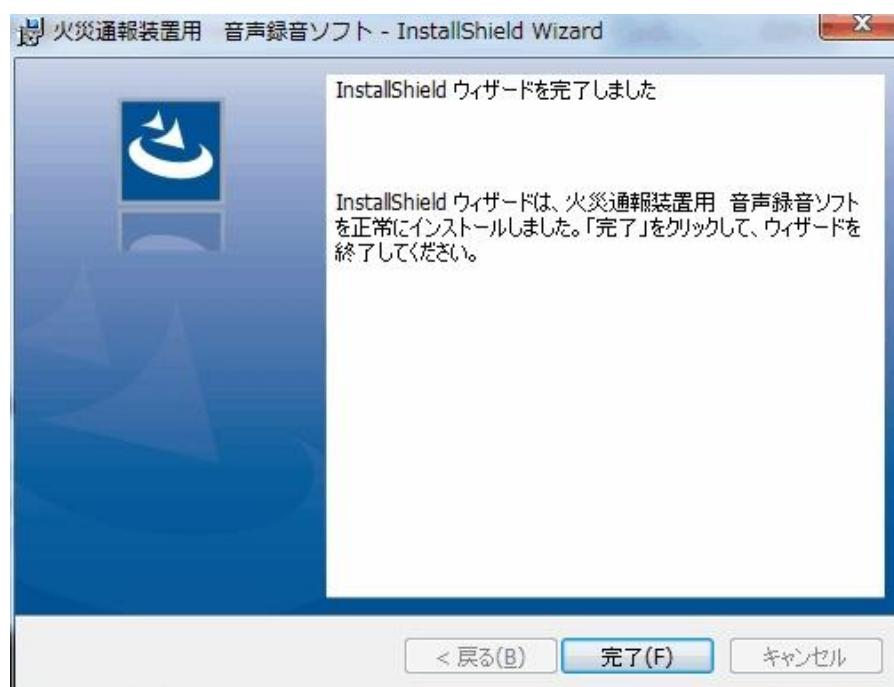
「はい(Y)」ボタンをクリックします。



(5) インストールを開始します。



(6) インストールを完了します。



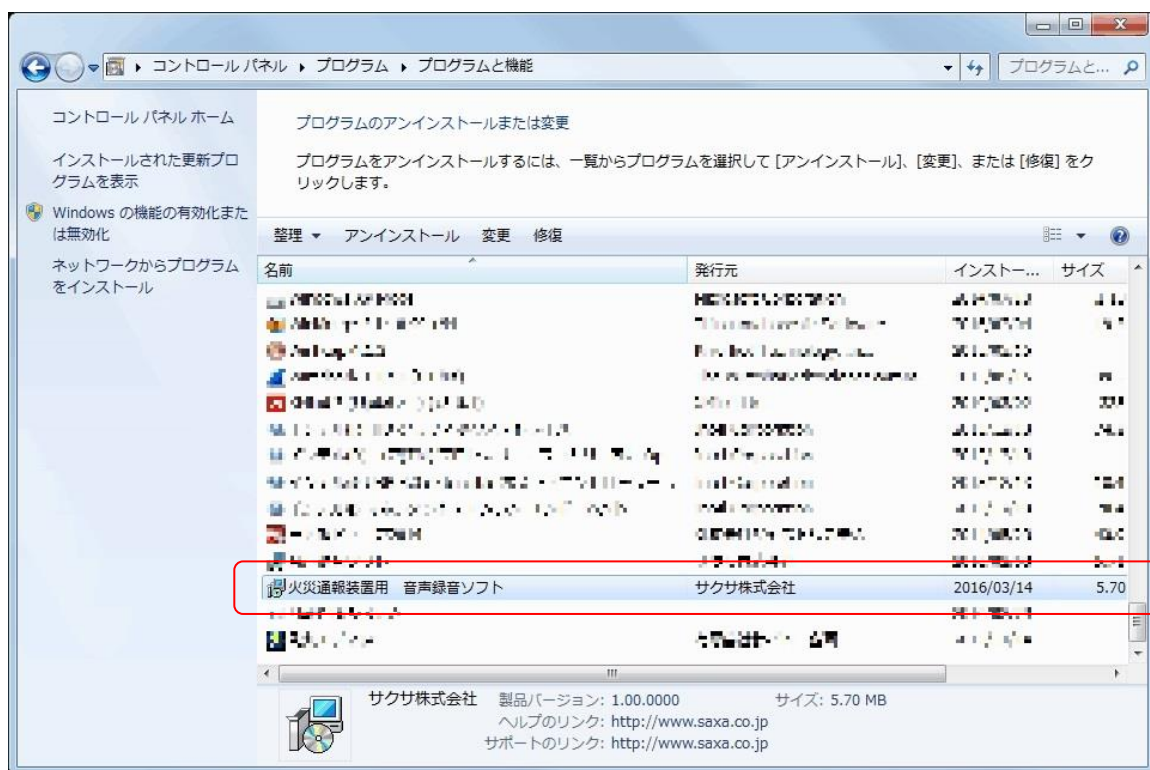
「完了(F)」ボタンをクリックします。

以上で、本ソフトのインストールは完了です。

4-2 アンインストールする

本ソフトをインストールしているPCにおいて、本ソフトが不要となった場合はアンインストールを行います。

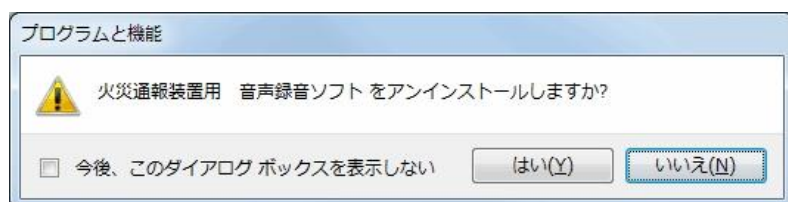
- (1) コントロールパネルの「プログラムと機能」、もしくは、「プログラムのアンインストール」より「プログラムと機能」画面を表示します。



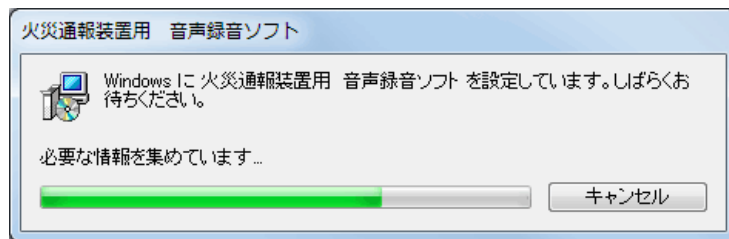
- (2) 「火災通報装置用 音声録音ソフト」を右クリックして「アンインストール」を選択します。

○ 下記の画面が表示された場合

「はい(Y)」をクリックしてアンインストールを開始します。

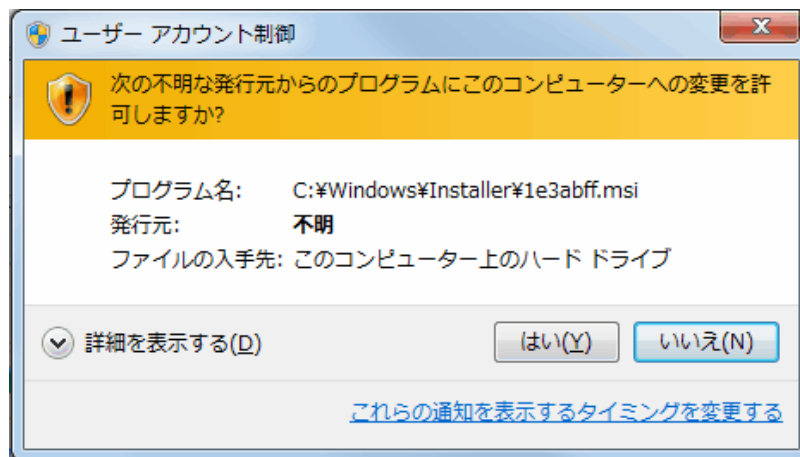


(3) アンインストールを開始します。



○ 下記の画面が表示された場合

「はい(Y)」をクリックしてアンインストールします。



以上で、本ソフトのアンインストールは完了です。

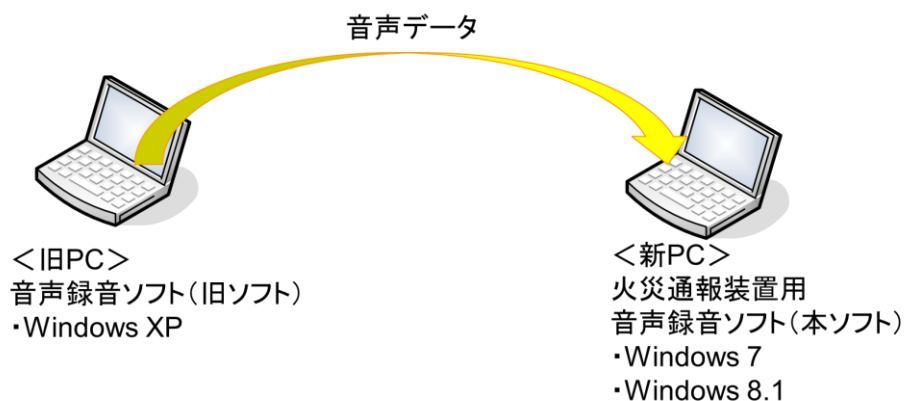
4-3 旧ソフトから音声データを移行する

音声録音ソフト(以降、旧ソフトとします)で作成した音声データを火災通報装置用 音声録音ソフト(以降、本ソフトとします)に引き継ぐことが可能です。

旧ソフトを使用していたユーザで、本ソフトへのデータの移行を行う場合のみ、以降の手順に従って作業を行ってください。

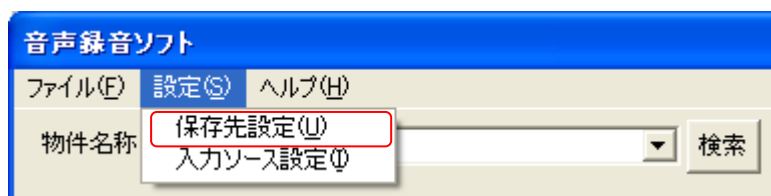
※以降、旧ソフトが入ったPCを旧PC、本ソフトが入ったPCを新PCと表記します。

※本項の画像では、例として旧PCの“C:¥Program Files¥TSREC”から“DATA”フォルダを新PCの“D:¥SDREC_DATA”に移行しています。



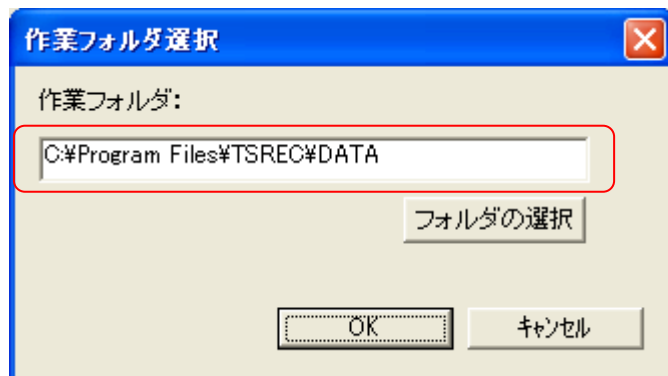
<旧PCでの作業手順>

- ①旧ソフトを起動します。
- ②設定メニューから保存先設定を選択します。



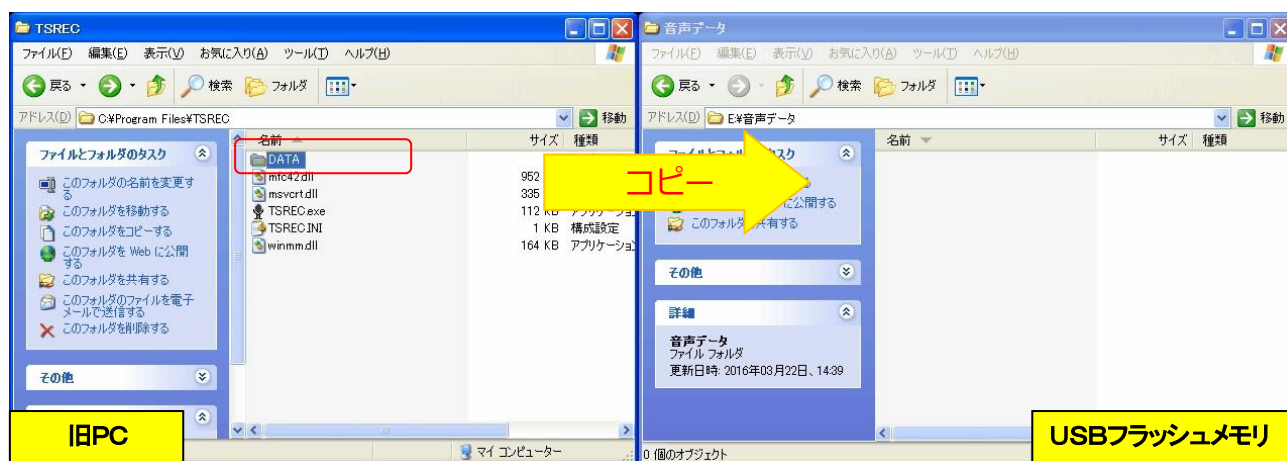
- ③「作業フォルダ選択」画面に音声データを保存しているフォルダのフルパスを表示します。

※下図の例の場合は“C:¥Program Files¥TSREC”内にある“DATA”フォルダが作業フォルダです。



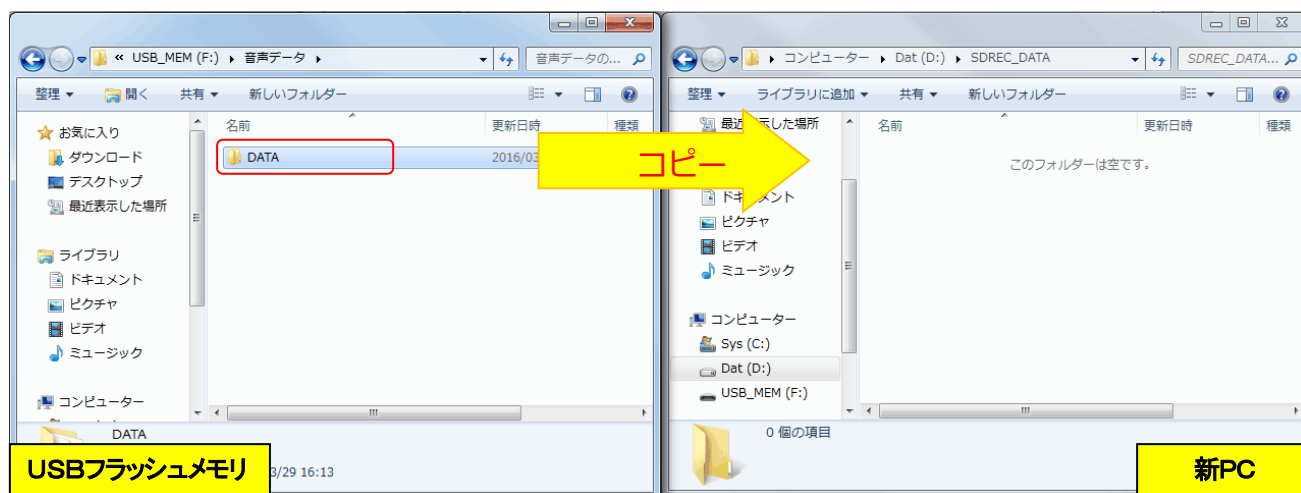
④上記③にて表示されたパスのフォルダ（作業フォルダ）をUSBフラッシュメモリなどにコピーします。

※下図の例の場合は“C:\Program Files\TSREC”内にある“DATA”フォルダをコピーします。



<新PCでの操作手順>

⑤USBフラッシュメモリなどから新PCの任意のフォルダに作業フォルダをコピーします。



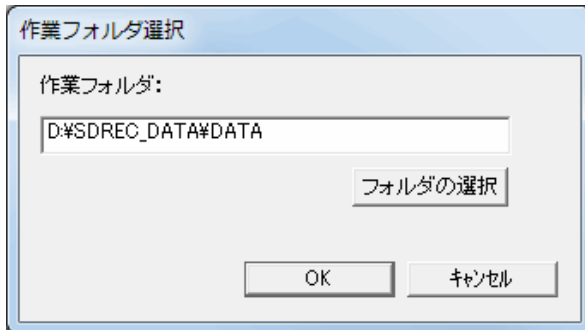
⑥本ソフトを起動します。（5. 火災通報装置用 音声録音ソフトを起動する 参照）



⑦本ソフトの「作業フォルダ選択」画面から⑤でコピーしたフォルダを指定して「OK」ボタンをクリックします。

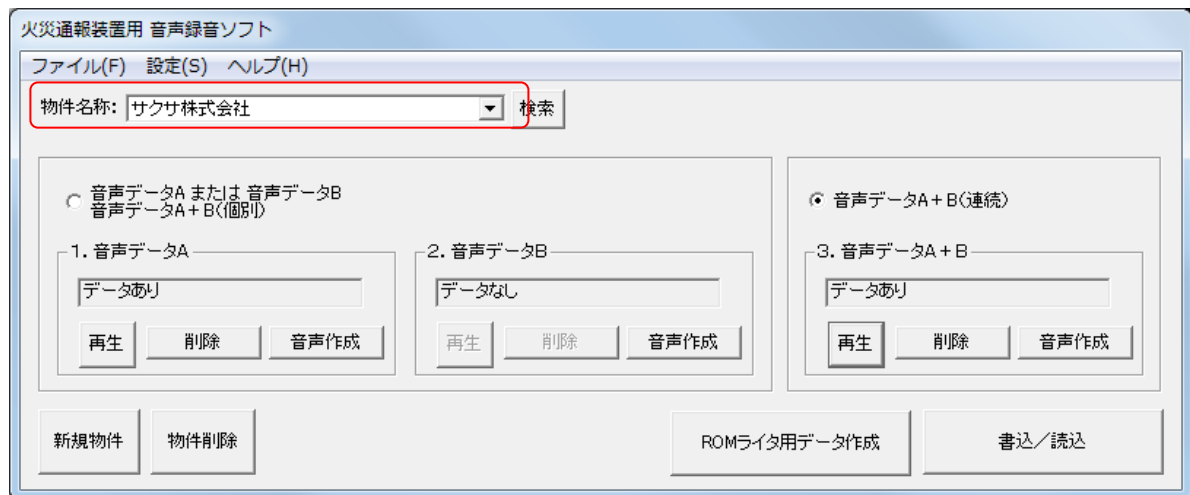
(10. 物件情報の保存先を変更する 参照)

※下図の例の場合は“D:\SDREC_DATA\DATA”を指定しています。(デフォルトは“C:\SDREC\DATA”です)



⑧メイン画面の物件名称に、旧ソフトにて登録していた物件の名称を表示することを確認します。

(6-2 物件を選択する 参照)



⑨音声データを再生し、正常に移行できていることを確認します。(7-4 登録した音声データを再生する 参照)

以上で旧PCから新PCへのデータ移行は完了です。

5. 火災通報装置用 音声録音ソフトを起動する

火災通報装置用 音声録音ソフトをデスクトップのショートカットアイコンより起動します。



○ 本システムを起動すると以下のメイン画面を表示します。

※起動時は、昇順で一番小さい物件名称の物件を表示します。

■ 音声データ欄

音声データが存在するとき、「データあり」と表示され、音声データが存在しないとき、「データなし」と表示します。

こんな場合は……

- ・ 「アプリケーションはすでに起動しています。」と表示してソフトを起動できない。
すでに本ソフトが動作しています。他のウィンドウに隠れていないか、または最小化していないか確認してください。
- ・ 音声データ欄が空欄になっている
物件が登録されていません。新規物件の登録を行ってください。
(6-1 物件を新規登録する 参照)

6. 物件を登録／操作する

音声データを作成する前に火災通報装置の設置先「物件」を登録する必要があります。

6-1 物件を新規登録する

メイン画面の「新規物件」ボタンをクリックすると「新規物件」画面を表示します。

「新規物件」画面で名称を入力して「OK」ボタンをクリックすると、新規に物件を追加します。

○ 物件の追加を取り消したい場合

「新規物件」画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると物件を追加しません。

○ 選択中の物件の音声データを引き継いだ新規物件を作成したい場合

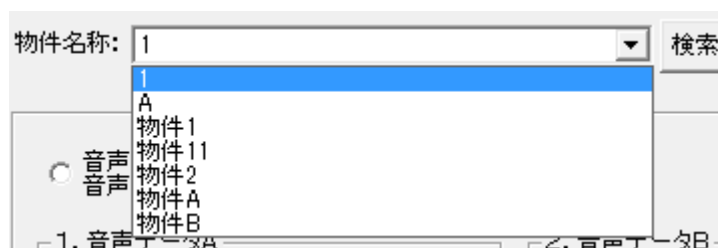
「選択中の物件の音声をコピー」ラジオボタンをクリックした状態で「OK」ボタンをクリックしてください。

こんな場合は……

- ・ 「OK」ボタンがクリックできない
物件名称を入力してください。
- ・ 「選択中の物件の音声をコピー」を選択できない
物件が登録されていません。
- ・ 「空きディスク容量が無くなってきたため、新規物件の登録ができません」と表示される
本ソフトが使用しているハードディスクの残り容量が少なくなっています。不要ファイルを削除してソフトを再起動してください。
- ・ 「同一名称の物件が存在します。名前を変えてください。」と表示される。
名称の同じ物件がすでに登録してあります。物件名称を変更してください。

6-2 物件を選択する

複数の物件を登録している場合には、メイン画面の「物件名称」プルダウンメニューから操作を行なう物件を選択することができます。



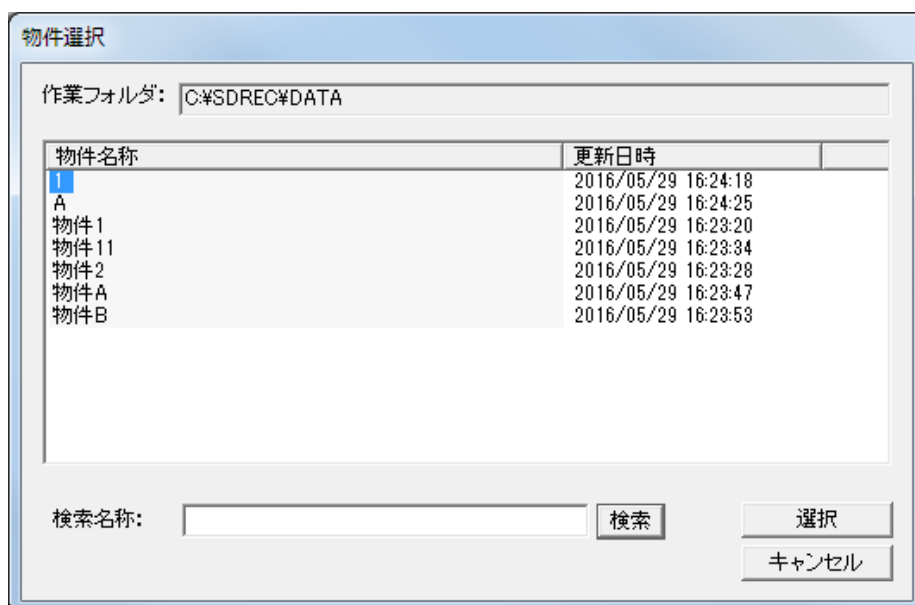
こんな場合は……

- ・ 「物件名称」プルダウンメニューに物件名称が表示されない。
物件が未登録です。新規物件を追加してください。(6-1 物件を新規登録する 参照)

6-3 物件を検索して選択する

メイン画面の「検索」ボタンをクリックすると「物件選択」画面を表示します。

「物件選択」画面では、物件の検索を行い「選択」ボタンをクリックすると検索結果から物件を選択できます。



○ 物件を名称で絞り込みたい場合

検索名称にキーワードを入力して「検索」ボタンをクリックすると、キーワードが含まれる物件の名称のみを表示します。

例) 検索名称 : 件1 で検索

表示は物件1と物件11に絞られます

物件名称	更新日時
物件1	2016/05/29 16:23:20
物件11	2016/05/29 16:23:34

検索名称:

○ 物件名称を昇順／降順で並び替えたい場合

検索名称のラベルをクリックする度に昇順／降順に並び替えます。

物件名称	更新日時
A	2016/05/29 16:24:18
物件1	2016/05/29 16:24:25
物件11	2016/05/29 16:23:20
物件2	2016/05/29 16:23:34
物件2	2016/05/29 16:23:28
物件A	2016/05/29 16:23:47
物件B	2016/05/29 16:23:53

○ 物件名称を更新日時で昇順／降順で並び替えたい場合

更新日時のラベルをクリックする度に昇順／降順に並び替えます。

物件名称	更新日時
物件1	2016/05/29 16:23:20
物件2	2016/05/29 16:23:28
物件11	2016/05/29 16:23:34
物件A	2016/05/29 16:23:47
物件B	2016/05/29 16:23:53
1	2016/05/29 16:24:18
A	2016/05/29 16:24:25

○ 物件の選択を取り消したい場合

「物件選択」画面を「キャンセル」ボタンをクリックして閉じると物件を選択しません。

こんな場合は……

- 「選択」ボタンをクリックして「物件の選択をしてください」と表示され物件を選択できない。
物件名称をクリックし選択状態にしてから「選択」ボタンをクリックしてください。

6-4 物件を削除する

メイン画面の「物件削除」ボタンをクリックすると「物件削除確認」ダイアログを表示します。
「物件削除確認」ダイアログで「はい(Y)」ボタンをクリックして画面を閉じると物件を削除します。



○ 物件の削除を取り消したい場合

「いいえ(N)」ボタンをクリックして閉じると物件を削除しません。

注) 物件を削除すると、その物件の音声データも削除します。

7. 音声データを登録／操作する

音声データの作成はマイク／ライン入力からの録音、既存のWAVファイルからの音声の参照にて行なえます。
不定フレーズとして使用する音声は、必ず「発声が明瞭で語尾を明確に強調した口調の女声」で作成してください。

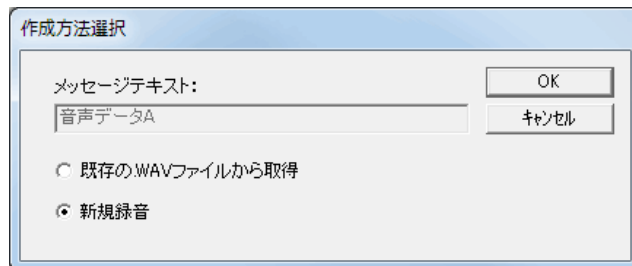
7-1 マイク／ライン入力から音声を録音する

①作成する音声データを選択する

録音可能な音声データは3種類あります。

・音声データAを録音する場合

メイン画面にて「1. 音声データA」の「音声作成」ボタンをクリックすると「作成方法選択」画面を表示します。



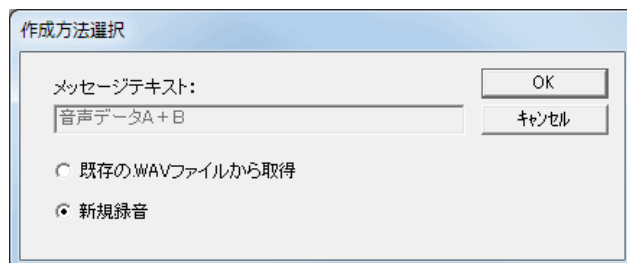
・音声データBを録音する場合

メイン画面にて「2. 音声データB」の「音声作成」ボタンをクリックすると「作成方法選択」画面を表示します。



・音声データA+Bを録音する場合

メイン画面にて「3. 音声データA+B」の「音声作成」ボタンをクリックすると「作成方法選択」画面を表示します。



「新規録音」ラジオボタンをクリックしてから「OK」ボタンをクリックすると「録音」画面を表示します。

○ 音声作成を取り消したい場合

「作成方法選択」画面を「キャンセル」ボタンでクリックして閉じると音声を作成しません。

② 音声を録音する

「録音」画面にて音声を録音します。



- ボタンをクリックすると録音を開始します。録音可能時間は20秒です。
音声データA、音声データBの長さは1フレーズ8.192秒です。音声データA+Bは16.384秒です。
8.192秒以上(音声データA+Bは16.384秒以上)録音した場合には編集にて調整してください。
- ボタンをクリックしたあと3秒間カウントダウン表示します。
カウントダウン表示が消えてから録音を開始してください。

※カウントダウン表示を行う秒数は設定により変更可能です。(11-4 録音開始ディレイ時間を変更する 参照)

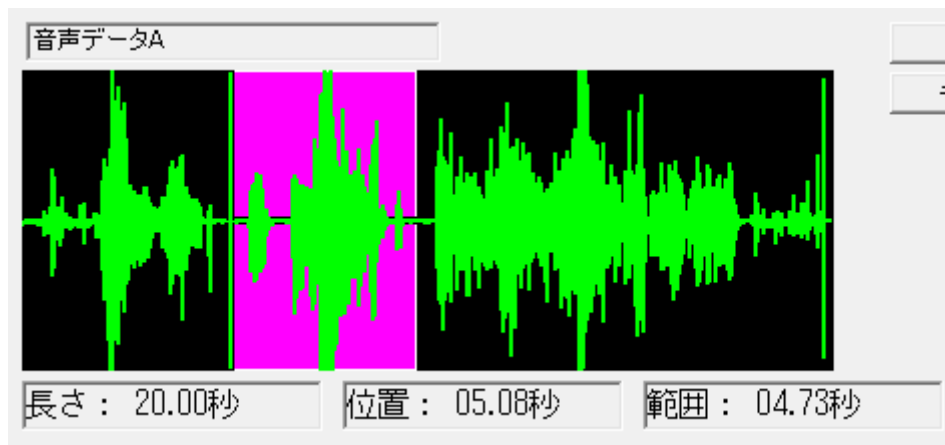
<カウントダウン表示例>

3 ⇨ 2 ⇨ 1 ⇨

- ▶ ボタンをクリックすると録音した音声の再生を開始します。
- ボタンをクリックすると再生／録音を停止します。
- || ボタンをクリックすると再生を一時停止します。

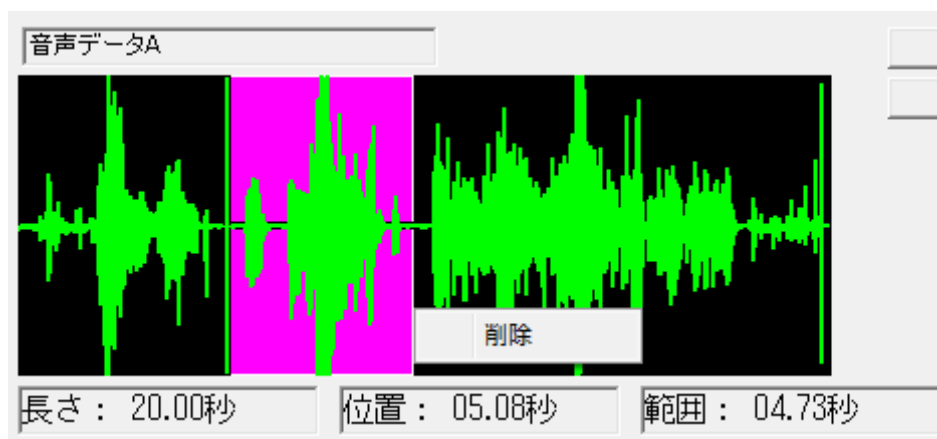
③ 録音した音声を編集する

波形表示で削除したい範囲をマウスの左ボタンでドラッグすると選択範囲がピンク色に変わります。



削除する範囲が決まったところでマウスの左ボタンを離すと「削除」ボタンを表示します。

「削除」ボタンをクリックすると選択範囲を削除します。



選択した範囲の秒数は「範囲:」に表示します。編集の目安にしてください。

④ 録音した音声を保存する

「録音」画面で音声を停止した状態で「OK」ボタンをクリックすると、音声データを作成して、メイン画面の音声データ欄に「データあり」と表示します。

○ 音声作成を取り消したい場合

「録音」画面を「キャンセル」ボタンをクリックして閉じると音声データを作成しません。

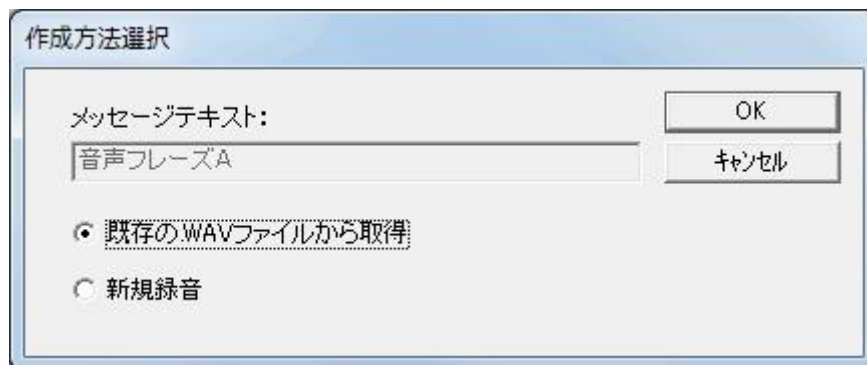
こんな場合は……

- ・ 「OK」ボタンをクリックすると『録音サイズが長すぎます。「OK」ボタンで8. 192秒(音声データA+Bの場合は16. 384秒)以降を自動的に削除します。』と表示された。
「キャンセル」ボタンで「録音」画面に戻るか、「OK」ボタンをクリックしてください。
※「OK」をクリックした場合は余分な音声削除されることに注意してください。
- ・ マイクのボリュームが小さい。
コントロールパネルの「サウンド」もしくは本システムの「録音設定」でマイクのボリュームを調整してください。(11-3 ボリュームを変更する 参照)
- ・ 録音中に音声の波形が表示されない。
「録音設定」画面で入力ソースを確認してください。入力ソースが異なる場合はソースを変更してください。
(11-2 録音ソースを変更する 参照)

7-2 既存のWAVファイルから音声データを作成する

①作成する音声データを選択する

編集可能な音声データは3種類あります。(7-1 ①作成する音声データを選択する 参照)



○ WAVファイルから音声を取得する場合

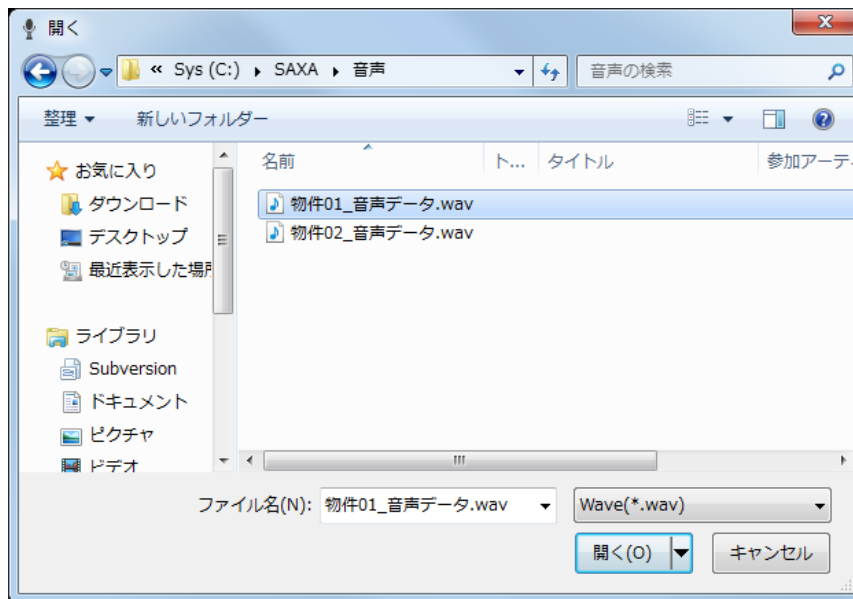
「既存の. WAV ファイルから取得」ラジオボタンをクリックしてから「OK」ボタンをクリックすると、「開く」画面を表示します。

○ 音声データ作成を取り消したい場合

「作成方法選択」画面を「キャンセル」ボタンをクリックして閉じると音声データを作成しません。

② WAVファイルを選択する

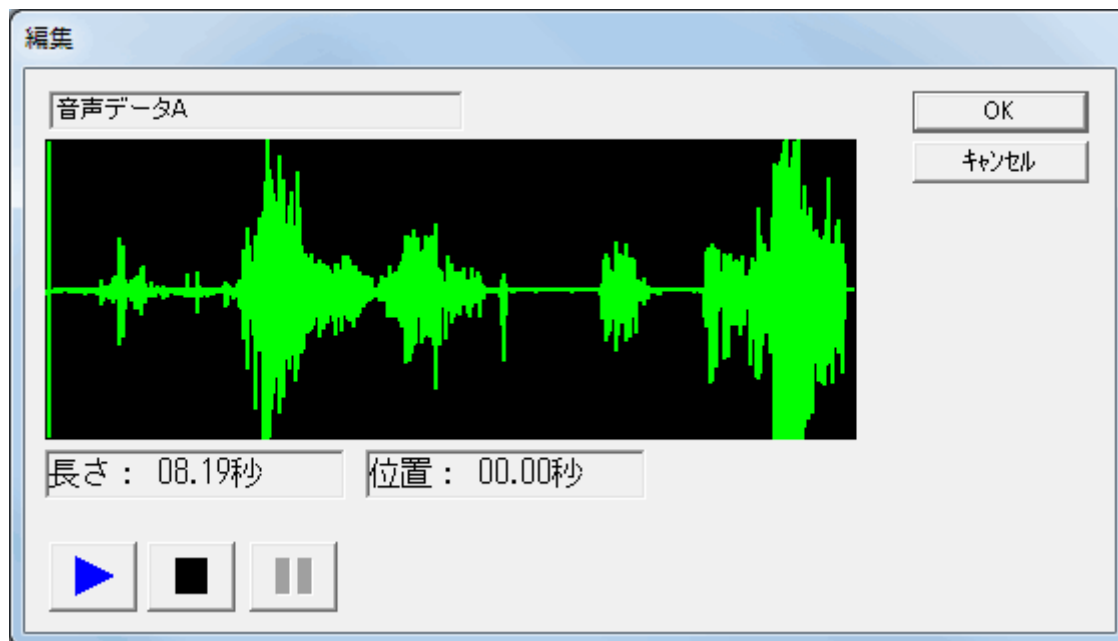
参照するWAVファイルを選択します。





ファイル名をダブルクリックもしくは「開く」ボタンクリックすると「編集」画面を表示します。


注) 本システムの扱えるWAVファイルフォーマットは、サンプリング周波数8kHz、ビットレート16bitのPCMデータのみです。

③ 参照した音声を確認する



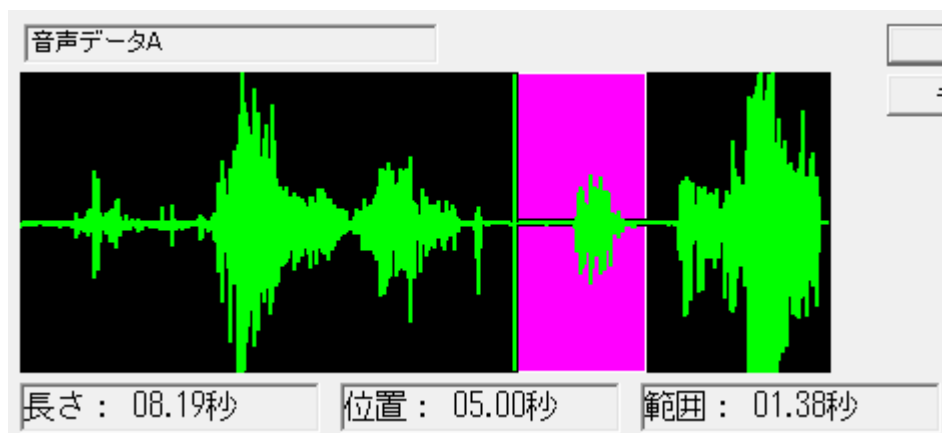
 ボタンをクリックすると再生を開始します。

 ボタンをクリックすると再生を停止します。

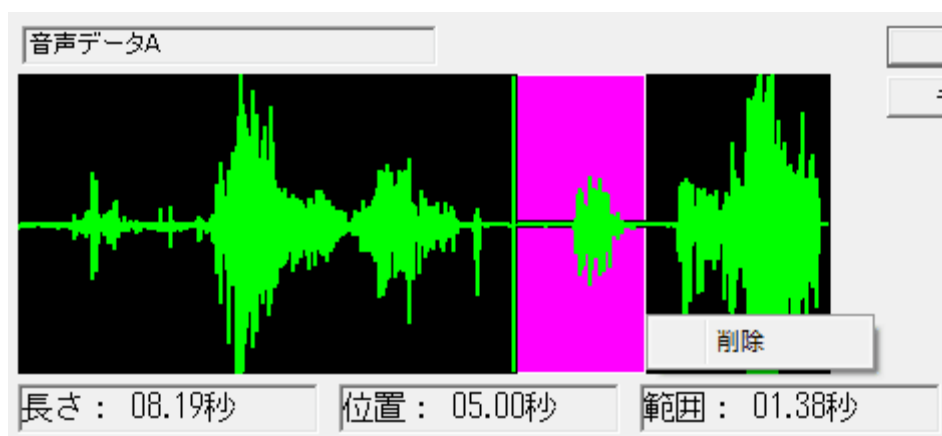
 ボタンをクリックすると再生を一時停止します。

④ 参照した音声を編集する

波形表示で削除したい範囲をマウスの左ボタンでドラッグすると選択範囲がピンク色に変わります。



削除する範囲が決まったところでマウスの左ボタンを離すと「削除」ボタンを表示します。
「削除」ボタンをクリックすると選択範囲を削除します。



選択した範囲の秒数は「範囲:」に表示します。編集の目安にしてください。

⑤ 参照した音声を適用します。

「編集」画面で音声を停止した状態で「OK」ボタンをクリックすると、音声データを作成して、メイン画面の音声データ欄に「データあり」と表示します。

○ 音声データ作成を取り消したい場合

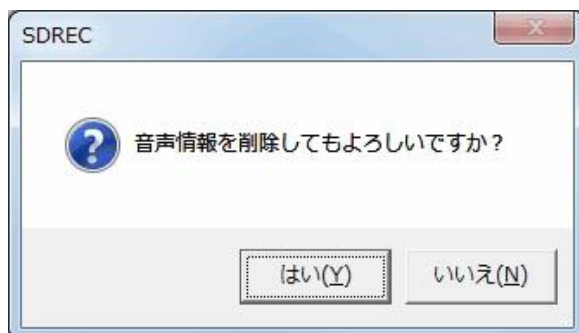
「編集」画面を「キャンセル」ボタンをクリックして閉じると音声データを作成しません。

こんな場合は……

- ・ 「OK」ボタンをクリックすると『録音サイズが長すぎます。「OK」で8.192秒(音声データA+Bの場合は16.384秒)以降を自動的に削除します。』と表示された。
「キャンセル」ボタンで「録音」画面に戻るか、「OK」ボタンをクリックしてください。
※「OK」をクリックした場合は余分な音声削除されることに注意してください。
- ・ 「サウンドファイルを開けませんでした。」と表示され音声データを参照できない。
本システムの扱えるWAVファイルフォーマットは、サンプリング周波数8kHz、ビットレート16bitのPCMデータだけです。他のフォーマットの音声データはフォーマットを変換してから使用してください。

7-3 登録した音声データを削除する

メイン画面の各音声データの「削除」ボタンをクリックすると「音声削除確認」画面を表示します。
「音声削除確認」画面で「はい(Y)」ボタンをクリックして画面を閉じると音声データを削除します。
また、音声データ欄に「データなし」と表示します。

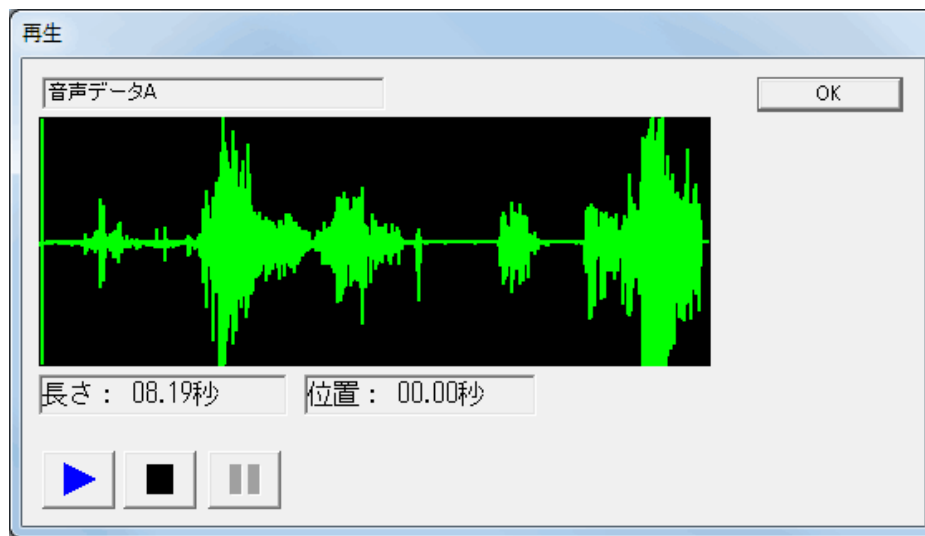



○ 音声データの削除を取り消したい場合


問い合わせ画面を「いいえ(N)」ボタンをクリックして閉じると物件を削除しません。


7-4 登録した音声データを再生する

メイン画面にて各音声データの「再生」ボタンをクリックすると「再生」画面を表示します。



 ボタンをクリックすると音声の再生を開始します。

 ボタンをクリックすると再生を停止します。

 ボタンをクリックすると再生を一時停止します。

音声を停止した状態で「OK」ボタンをクリックすると「再生」画面を終了します。

8. ROMライタ用のデータを作成する

「7. 音声データを登録／操作する」にて作成した音声データを、ROMライタで書き込みを行うためのデータ形式(μLawデータ)に変換して、拡張子が「.snd」のファイル(以降、SNDファイルとします)として保存します。

①音声データを選択する

SNDファイルを作成する音声データを選択します。

SNDファイルとして作成可能な音声データの構成は4種類あります。

・音声データAのSNDファイルを作成する場合

音声データAを登録した状態で、メイン画面の「音声データAまたは音声データB、音声データA+B(個別)」ラジオボタンをチェックします。

・音声データBのSNDファイルを作成する場合

音声データBを登録した状態で、メイン画面の「音声データAまたは音声データB、音声データA+B(個別)」ラジオボタンをチェックします。

・音声データA+B(個別)のSNDファイルを作成する場合

音声データAと音声データBを登録した状態で、メイン画面の「音声データAまたは音声データB、音声データA+B(個別)」ラジオボタンをチェックします。

・音声データA+B(連続)のSNDファイルを作成する場合

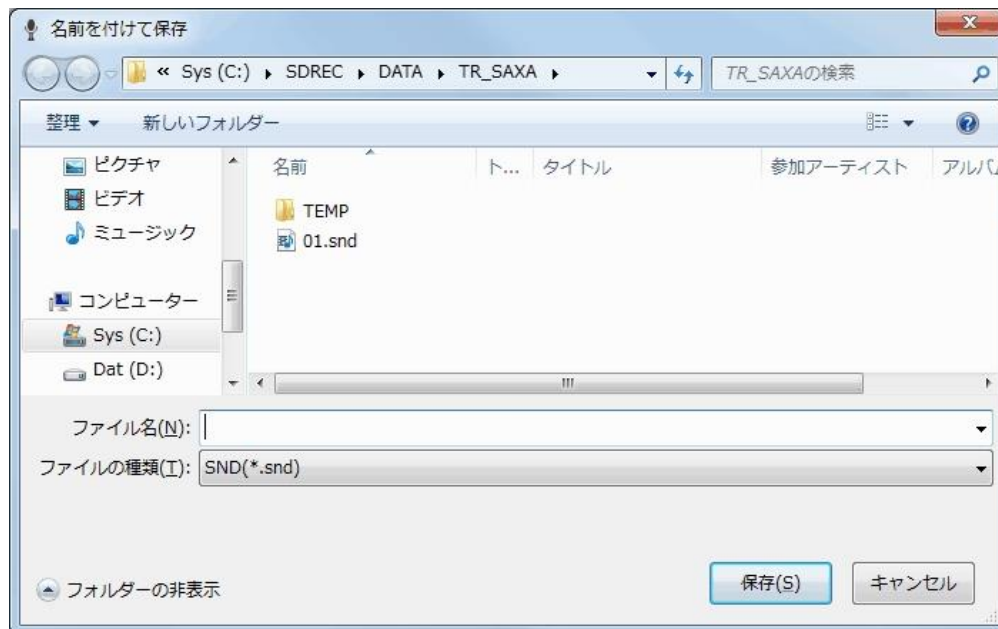
音声データA+Bを登録した状態で、メイン画面の「音声データA+B(連続)」ラジオボタンをチェックします。

メイン画面の「ROMライタ用データ作成」ボタンをクリックすると「名前を付けて保存」画面を表示します。

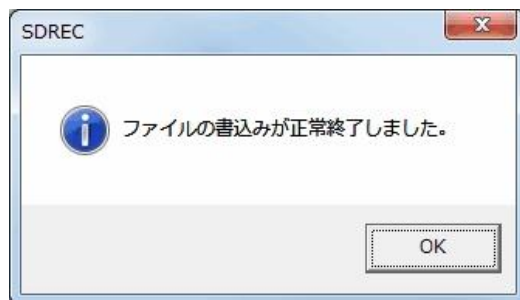
②SNDファイルの保存先を指定する

「名前を付けて保存」画面にて、保存する場所(フォルダ)とファイル名を入力し、「保存(S)」ボタンをクリックするとSNDファイルを作成します。

注) 保存場所とファイル名はROMライターへ転送するときに参照しますので、保存する際には注意してください。



正常に保存できた場合には下記の画面を表示します。



※作成したSNDファイルはROMライターを使用して不定フレーズとしてROMパックに書き込みます。

ROMライターによるROMパックへの書き込み方法については同梱の資料「ROMライターによる火災通報装置用ROMパックへの書き込み手順書」を参照してください。

こんな場合は……

- ・ 「ROMライター用データ作成」ボタンをクリックできない。
選択した音声データが登録されていません。音声の作成をおこなってください。

9. 火災通報装置経由でROMパックへの書込／読込を行う

本システムと火災通報装置をRS-232Cストレートケーブルで接続することで、「7. 音声データを登録／操作する」にて作成した音声データを、火災通報装置を経由して、不定フレーズとしてROMパックに書き込むことができます。

また、ROMパックに保存されている不定フレーズを、本システムに読み込むこともできます。

※本機能はRS-232Cストレートケーブルが接続できる火災通報装置のみ使用できます。

9-1 「書込／読込」画面を表示する

メイン画面で「書込／読込」ボタンをクリックすると「書込／読込」画面を表示します。

書込／読込

物件名称: サクサ株式会社
の音声データを火災通報装置経由で不定フレーズとしてROMパックに書き込みます。
ROMパック内の不定フレーズを読み込むことも可能です。

作成したデータを書込

音声データA + B(連続)

再生

書込

ファイルを選択して書込

参照

再生

書込

読込

再生

読込

書込／読込状況表示

書込／読込状況:

開じる

こんな場合は……

- ・ 「書込／読込」ボタンをクリックできない。
物件が登録されていません。物件を新規登録してください。(6-1 物件を新規登録する 参照)

9-2 作成した音声データを不定フレーズとしてROMパックに書き込む

「7. 音声データを登録／操作する」にて作成した音声データをROMパックに不定フレーズとして書き込む場合は、メイン画面にて物件と音声データを選択した状態で「書込／読込」画面を表示して、「作成したデータを書込」機能を使用して書き込みを行います。

※火災通報装置に不定フレーズを書き込むには、火災通報装置側の操作も必要です。

火災通報装置の操作も含めた作業手順については「9-4 不定フレーズ書き込み作業手順」を参照してください。

※書込対象のROMパックに既に不定フレーズが書き込まれている場合は上書きされます。

①不定フレーズとして書き込む音声データを選択する

不定フレーズとして書き込み可能な音声データは4種類あります。

・音声データAを書き込む場合

音声データAを登録した状態で、メイン画面の「音声データAまたは音声データB、音声データA+B(個別)」ラジオボタンをチェックし「書込／読込」ボタンをクリックすると「書込／読込」画面の「作成したデータを書込」グループに「音声データA」と表示します。



・音声データBを書き込む場合

音声データBを登録した状態で、メイン画面の「音声データAまたは音声データB、音声データA+B(個別)」ラジオボタンをチェックし「書込／読込」ボタンをクリックすると「書込／読込」画面の「作成したデータを書込」グループに「音声データB」と表示します。



・音声データA+B(個別)を書き込む場合

音声データAと音声データBを登録した状態で、メイン画面の「音声データAまたは音声データB、音声データA+B(個別)」ラジオボタンをチェックし「書込／読込」ボタンをクリックすると「書込／読込」画面の「作成したデータを書込」グループに「音声データA+B(個別)」と表示します。



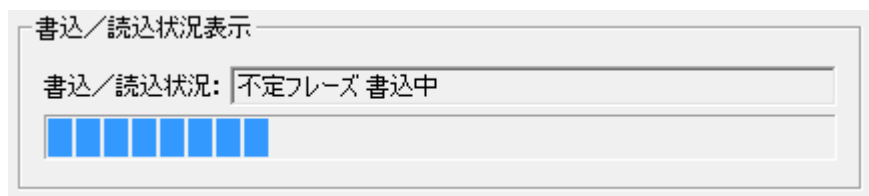
- ・音声データA+B(連続)を書き込む場合

音声データA+Bを登録した状態で、メイン画面の「音声データA+B(連続)」ラジオボタンをチェックし「書込／読込」ボタンをクリックすると「書込／読込」画面の「作成したデータを書込」グループに「音声データA+B(連続)」と表示します。

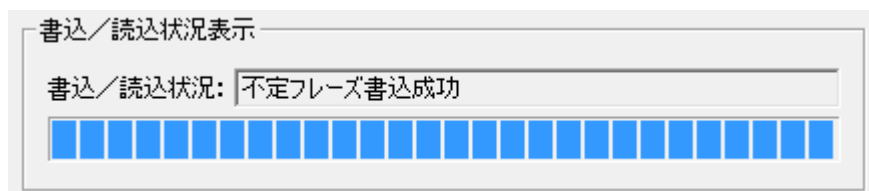


②選択したファイルの書き込みを行う

「作成したデータを書込」グループの「書込」ボタンをクリックすると、音声データを不定フレーズとしてROMパックへの書込を開始します。



書き込み中は、「書込／読込」画面の「書込／読込状況表示」に進捗状況を表示します。



不定フレーズを正常に書き込めた場合は、上記の画面を表示します。

こんな場合は……

- ・「音声データなし」と表示されて書き込みできない。
メイン画面にて選択した音声データが登録されていません。音声を登録してください。
(7. 音声データを登録／操作する 参照)



9-3 ファイルを選択して不定フレーズをROMパックに書き込む

「8. ROMライタ用のデータを作成する」にて作成したSNDファイル、もしくは、「9-5 ROMパックの不定フレーズを読み込む」にてROMパックから読み込んだSNDファイルを不定フレーズとして書き込む場合は、「書込／読込」画面の「ファイルを選択して書込」グループを使用して書き込みを行います。

※火災通報装置を経由してROMパックに不定フレーズを書き込むには、火災通報装置側の操作も必要です。

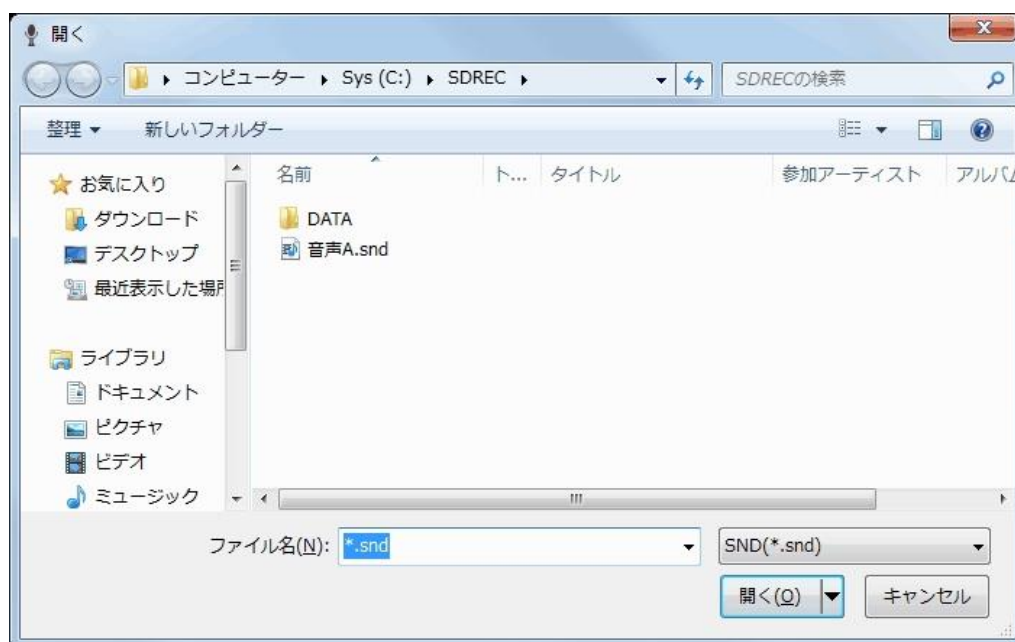
火災通報装置の操作も含めた作業手順については「9-4 不定フレーズ書き込み作業手順」を参照してください。

※書込対象のROMパックに既に不定フレーズが書き込まれている場合は上書きされます。

①書き込むファイルを選択する

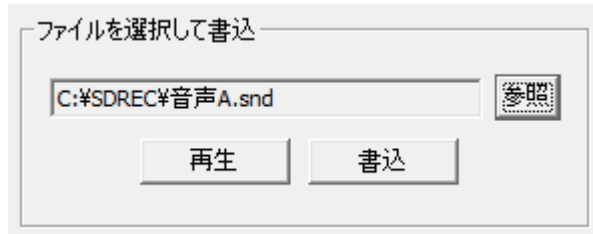


「書込／読込」画面の「ファイルを選択して書込」グループの「参照」ボタンをクリックすると、「開く」画面を表示します。

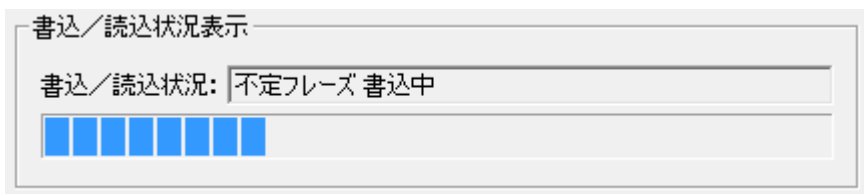


「開く」画面にて、書き込みを行うSNDファイルのファイル名をダブルクリックもしくは選択して「開く(O)」ボタンをクリックすると、「書込／読込」画面の「ファイルを選択して書込」グループに選択したファイルのパスを表示します。

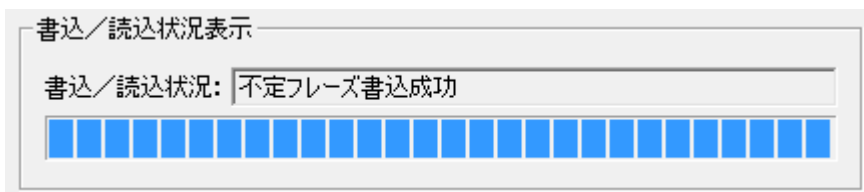
②選択したファイルを不定フレーズとして書き込む



SNDファイルを選択した状態で、「ファイルを選択して書込」グループの「書込」ボタンをクリックすると、SNDファイルを不定フレーズとして書き込み開始します。



書き込み中は、「書込／読込」画面の「書込／読込状況表示」に進捗状況を表示します。

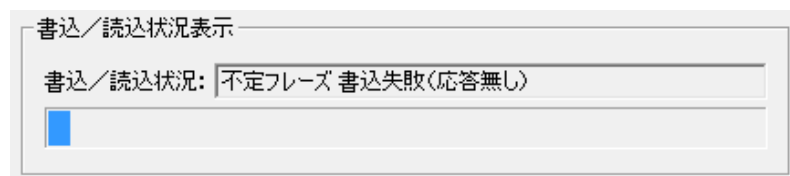


不定フレーズが正常に書き込んだ場合は、上記の画面を表示します。

こんな場合は……

- ・ 「不定フレーズファイル読みエラー」と表示される。
選択したファイルのパスが間違っている可能性があります。ファイルを確認してください。
- ・ 「COM ポートオープンエラー」と表示される。
 - ・ ポート設定にて存在しないポートを設定している可能性があります。ポート設定の内容を確認してください。
(12. ポート(RS-232C)を設定する 参照)
 - ・ 他のアプリケーションがポートを使用している可能性があります。ポート設定で他のポートに変更するか、ポートを使用しているアプリケーションを終了してください。
- ・ 「不定フレーズ 書き込み失敗(応答無し)」と表示される
 - ・ 火災通報装置がPC通信処理モードになっていない可能性があります。火災通報装置をPC通信処理モードで起動してください。
 - ・ RS-232Cクロスケーブルを使用している可能性があります。RS-232Cストレートケーブルを使用してください。
 - ・ RS-232Cケーブルが抜けかかっている可能性があります。接続を確認してください。
 - ・ 使用していないポートを設定している可能性があります。ポート設定の内容を確認してください。
(12. ポート(RS-232C)を設定する 参照)
- ・ 「不定フレーズ 書き込み失敗(応答結果異常)」と表示される
機器の故障が考えられます。

＜書き込みエラー表示の例＞

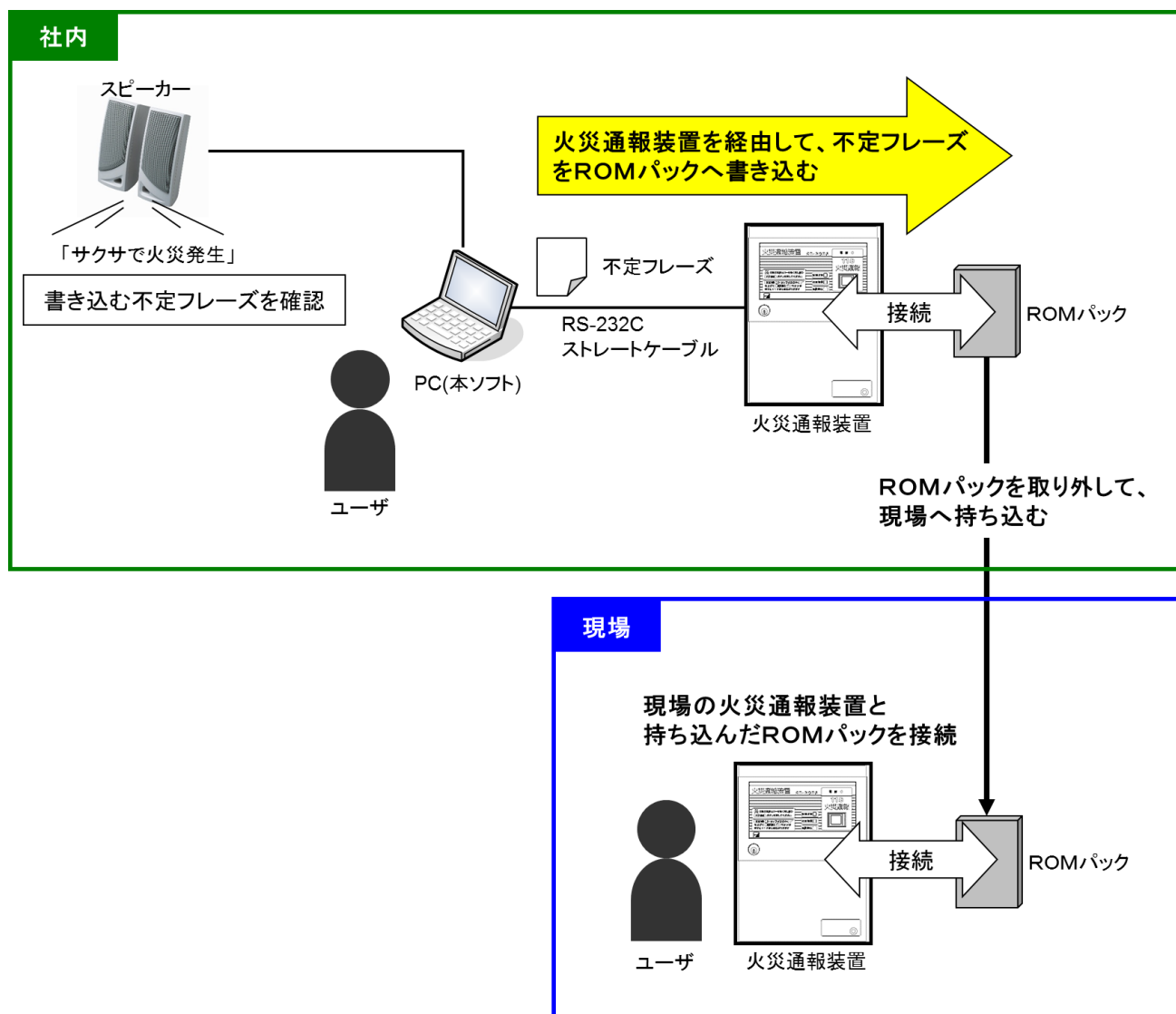


9-4 不定フレーズ書き込み作業手順

不定フレーズの書き込み手順を説明します。

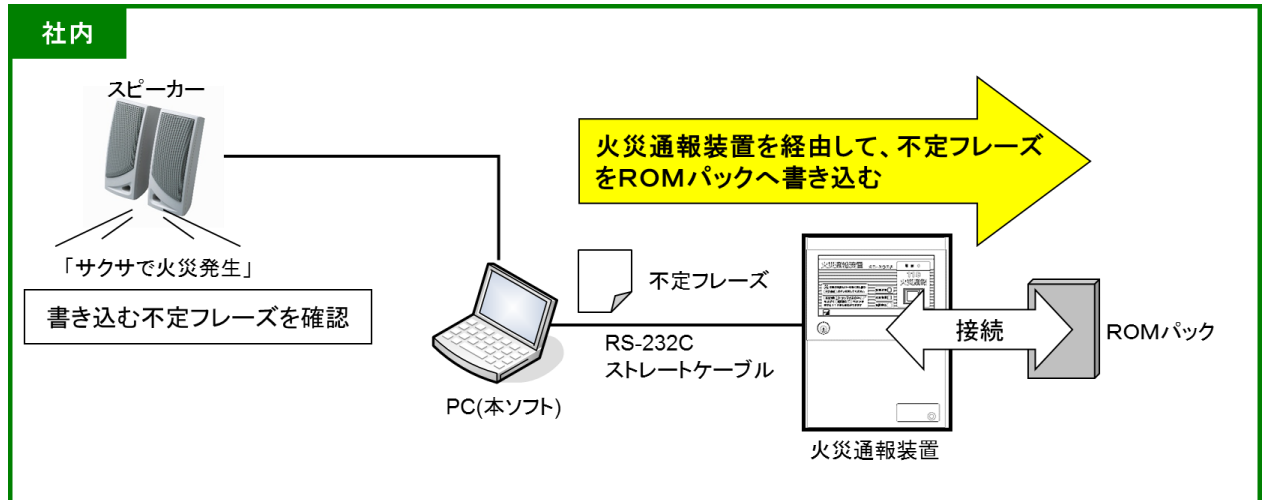
不定フレーズの書き込み作業として、ROMパックに不定フレーズを登録する「社内での作業」と、不定フレーズが登録されたROMパックを現場の火災通報装置に接続する「現場の作業」があります。

本項では社内の作業手順と現場の作業手順をそれぞれ説明します。



<社内の作業手順>

本システムを使用して、火災通報装置を介してROMパックに不定フレーズを書き込みます。



※火災通報装置の電源をOFFする際にバッテリーが接続されている場合はバッテリーを外してから電源をOFFしてください。
また、電源を再度ONする際にはバッテリーを接続するのを忘れないよう注意してください。

①本ソフトをインストールしたPCと、ROMパックを接続した火災通報装置を、RS-232Cストレートケーブルにて接続します。

②火災通報装置をPC通信処理モードで起動します。

PC通信処理モードでの起動方法：火災通報装置の「M」キー+「9」キーを押しながら電源をONする。

PC通信処理モード7セグLED表示：起動時は「3」を表示し、待機状態になると時計回りに回転する。

③本システムより不定フレーズの書き込みを開始します。

(9-2 作成した音声データを不定フレーズとしてROMパックに書き込む、及び、9-3 ファイルを選択して不定フレーズをROMパックに書き込む 参照)

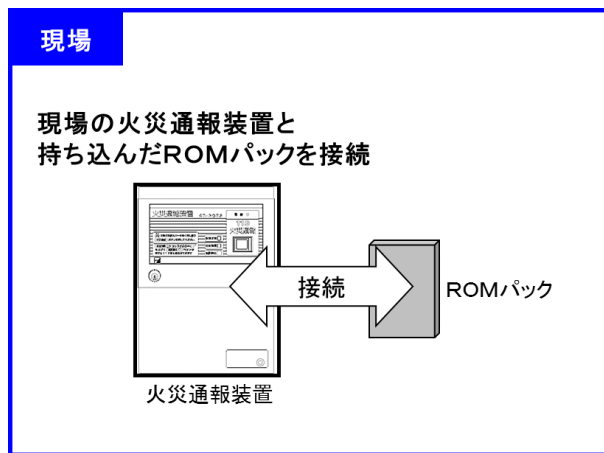
※書き込み前に不定フレーズを再生して確認することが可能です。(9-7 不定フレーズを再生する 参照)

④書き込みが完了したら火災通報装置の電源をOFFします。

⑤火災通報装置からROMパックを取り外し、現場へ持ち込みます。

<現場の作業手順>

社内の作業手順にて不定フレーズを書き込んだROMパックを現場の火災通報装置に接続します。



※火災通報装置の電源をOFFする際にバッテリーが接続されている場合はバッテリーを外してから電源をOFFしてください。
また、電源を再度ONする際にはバッテリーを接続するのを忘れないよう注意してください。

- ①火災通報装置の電源をOFFします。
- ②火災通報装置に、不定フレーズを書き込んだROMパックを接続します。
- ③火災通報装置の電源をONします。

以上で不定フレーズの書き込み作業は完了です。

9-5 ROMパックの不定フレーズを読み込む

火災通報装置に接続されているROMパック内の不定フレーズを読み込む場合は、「書込／読込」画面の「読込」グループを使用して読み込みを行います。

読み込んだ不定フレーズはSNDファイルとして保存します。

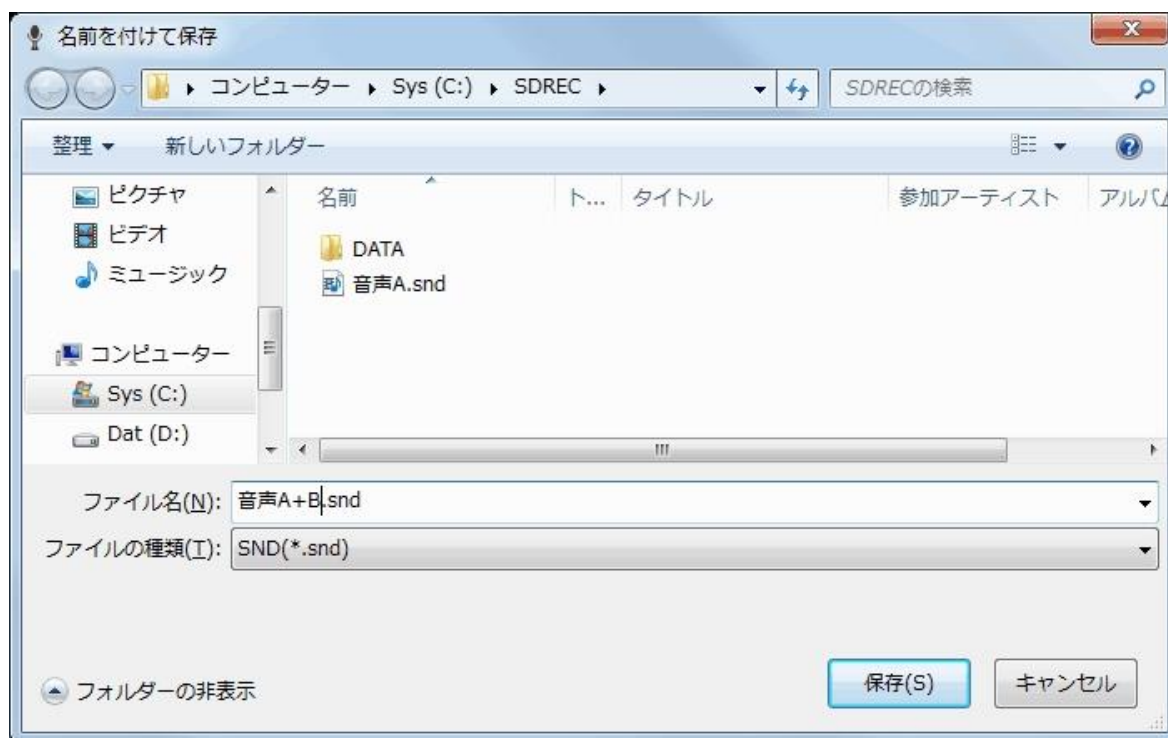
※火災通報装置から不定フレーズを読み込むには、火災通報装置側の操作も必要です。

火災通報装置の操作も含めた作業手順については「9-6 不定フレーズ読み込み作業手順」を参照してください。

①ROMパックから読み込んだ不定フレーズの保存先とファイル名を指定する



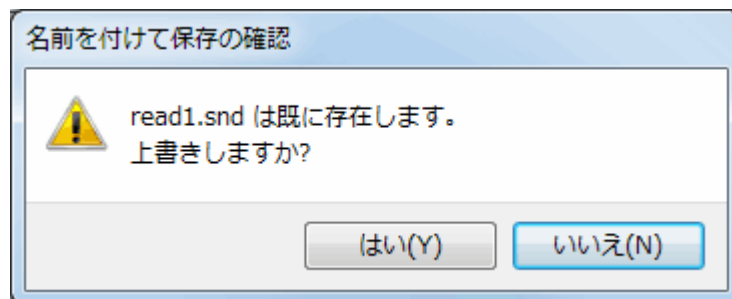
「読込」グループの「読込」ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」画面を表示します。



「名前を付けて保存」画面にて、読み込んだ不定フレーズの保存先(フォルダ)の指定とファイル名の設定をして、「保存(S)」ボタンをクリックすると不定フレーズの読み込みを開始します。

※読み込んだ不定フレーズは拡張子が「.snd」のSNDファイルとして保存します。

※指定したフォルダに同じファイル名のファイルが既に存在する場合は、下記の画面を表示します。



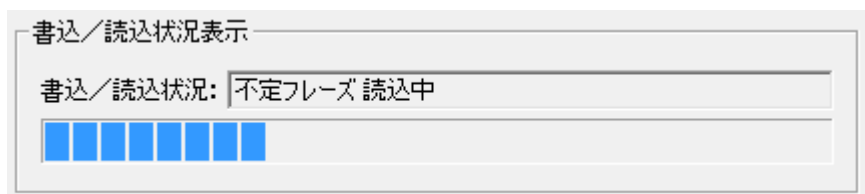
○上書き保存する場合

「はい(Y)」ボタンをクリックすると、読み込みを開始します。

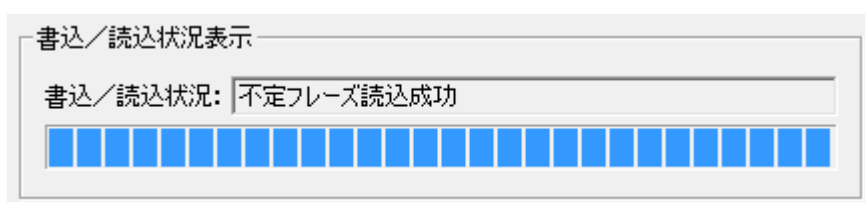
○上書き保存しない場合

「いいえ(N)」ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」画面に戻ります。

②不定フレーズ読み込んでファイルに保存する



読み込み中は、「書込／読込」画面の「書込／読込状況表示」に進捗状況を表示します。



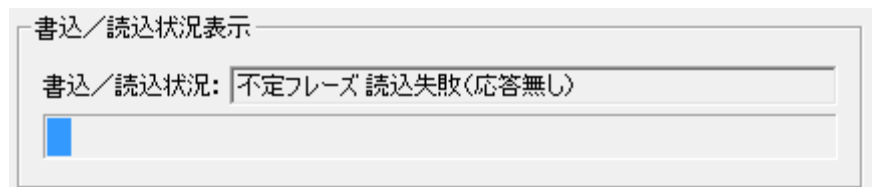
不定フレーズが正常に読み込めた場合は、上記の画面を表示します。

読み込みが成功すると、指定した保存先に、設定したファイル名のSNDファイルを作成します。

こんな場合は……

- ・「不定フレーズファイル書込エラー」と表示される。
選択したファイルのパスが間違っているか、ファイルの書き込み権限がない可能性があります。ファイルを確認してください。
- ・「COM ポートオープンエラー」と表示される。
 - ・ポート設定にて存在しないポートを設定している可能性があります。ポート設定の内容を確認してください。
(12. ポート(RS-232C)を設定する 参照)
 - ・他のアプリケーションがシリアル通信を使用している可能性があります。ポート設定を変更するか、シリアル通信を使用しているアプリケーションを終了してください。
- ・「不定フレーズ 読込失敗(応答無し)」と表示される
 - ・火災通報装置PC通信処理モードになっていない可能性があります。火災通報装置をPC通信処理モードで起動してください。
 - ・RS-232Cクロスケーブルを使用している可能性があります。RS-232Cストレートケーブルを使用してください。
 - ・RS-232Cケーブルが抜けかかっている可能性があります。接続を確認してください。
 - ・使用していないポートを設定している可能性があります。ポート設定の内容を確認してください。
(12. ポート(RS-232C)を設定する 参照)
- ・「不定フレーズ 読込失敗(応答結果異常)」と表示される
機器の故障が考えられます。

<読み込みエラー表示の例>

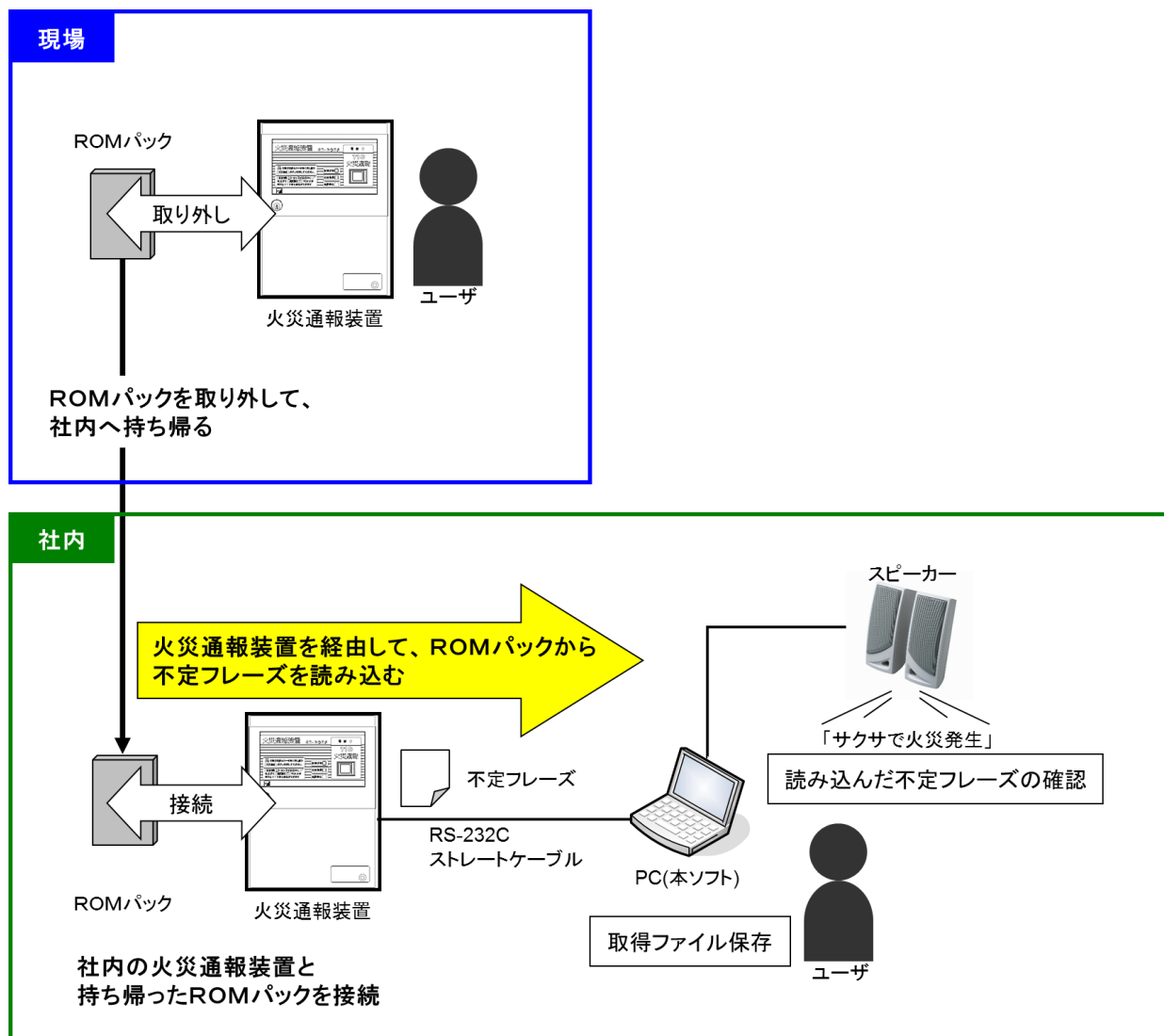


9-6 不定フレーズ読み込み作業手順

不定フレーズの読み込み手順を説明します。

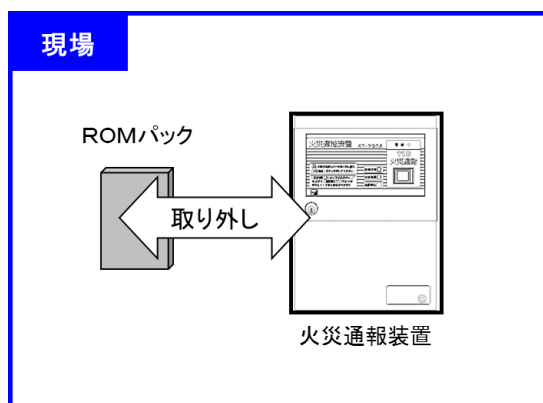
不定フレーズの読み込み作業として、現場の火災通報装置からROMパックを取り外す「現場の作業」と、現場のデータが入ったROMパックから不定フレーズを読み込みする「社内での作業」があります。

本項では現場の作業手順と社内の作業手順をそれぞれ説明します。



＜ 現場の作業手順 ＞

現場の火災通報装置からROMパックを取り外します。

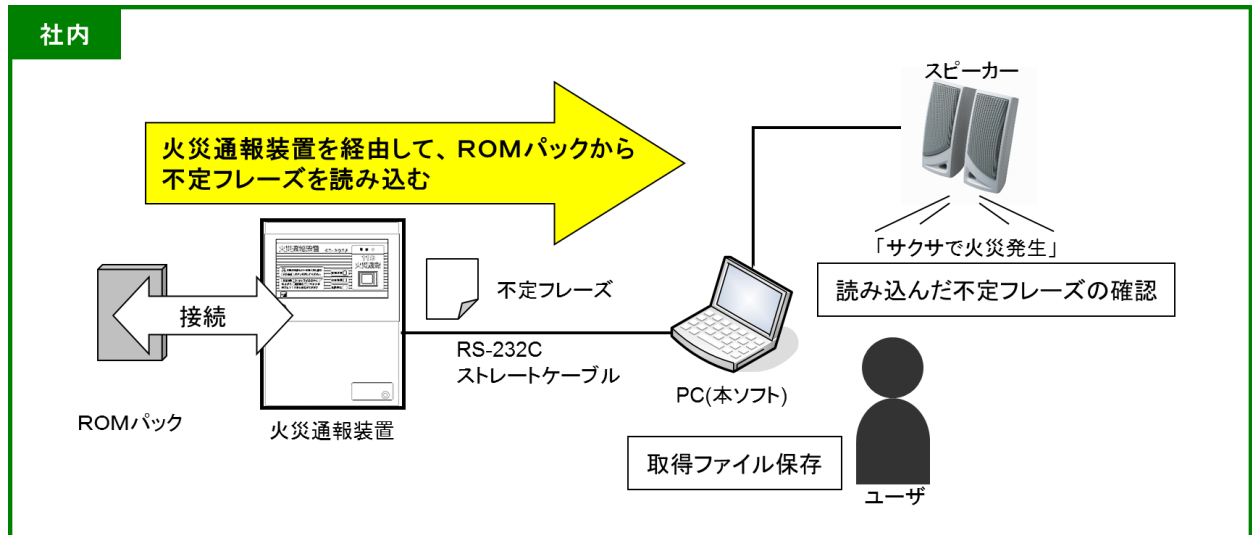


※火災通報装置の電源をOFFする際にバッテリーが接続されている場合はバッテリーを外してから電源をOFFしてください。
また、電源を再度ONする際にはバッテリーを接続するのを忘れないよう注意してください。

- ①火災通報装置の電源をOFFします。
- ②火災通報装置からROMパックを取り外します。
- ③火災通報装置の電源をONします。
- ④取り外したROMパックを社内に持ち帰ります。

< 社内の作業手順 >

現場の作業手順にて、火災通報装置から取り外したROMパックより、不定フレーズを読み込みます。



※火災通報装置の電源をOFFする際にバッテリーが接続されている場合はバッテリーを外してから電源をOFFしてください。
また、電源を再度ONするにはバッテリーを接続するのを忘れないよう注意してください。

①本ソフトをインストールしたPCと、現場のデータが入ったROMパックを接続した火災通報装置を、RS-232Cストレートケーブルにて接続します。

②火災通報装置をPC通信処理モードで起動します。

PC通信処理モードでの起動方法：火災通報装置の「M」キー＋「9」キーを押しながら電源をONする。

PC通信処理モード7セグLED表示：起動時は「3」を表示し、待機状態になると時計回りに回転する。

③本システムより不定フレーズの読込を開始します。(9-5 ROMパックの不定フレーズを読み込む 参照)

※読み込んだ不定フレーズは再生して確認することが可能です。(9-7 不定フレーズを再生する 参照)

④読込が完了したら火災通報装置の電源をOFFします。

以上で不定フレーズの読み込みは完了です。

9-7 不定フレーズを再生する

書き込む対象の不定フレーズ、及び、読み込んだ不定フレーズを再生することができます。

①再生する不定フレーズを選択する

クリックする「再生」ボタンによって再生方法が異なります。

不定フレーズの再生方法には3種類あります。

・「作成したデータを書込」グループの「再生」ボタン

「7. 音声データを登録／操作する」にて登録した音声データを不定フレーズとして再生を行います。

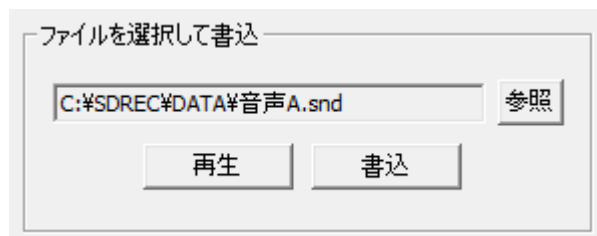
※選択した音声データが登録されていない場合はこの「再生」ボタンをクリックできません。



・「ファイルを選択して書込」グループの「再生」ボタン

「開く」画面にて選択したSNDファイルから不定フレーズの再生を行います。

※ファイルが選択されていない場合はこの「再生」ボタンをクリックできません。



・「読込」グループの「再生」ボタン

読み込んだ不定フレーズの再生を行います。

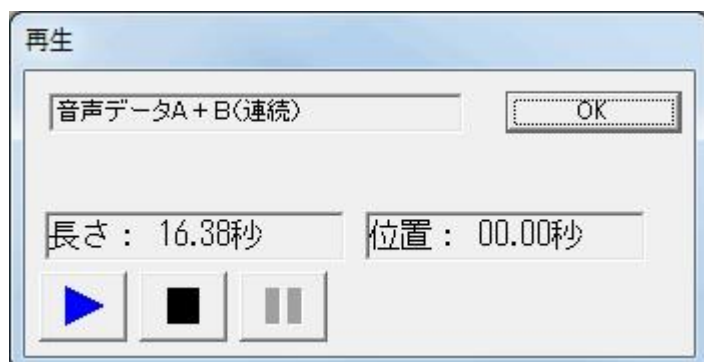
※不定フレーズを読み込んでいない場合はこの「再生」ボタンをクリックできません。




※「書込／読込」画面を閉じると、再度読込を完了するまでこの「再生」ボタンをクリックできません。



確認したい不定フレーズの「再生」ボタンをクリックすると、「再生」画面を表示します。

②不定フレーズを再生する



-  ボタンをクリックすると再生を開始します。
-  ボタンをクリックすると再生を停止します。
-  ボタンをクリックすると再生を一時停止します。

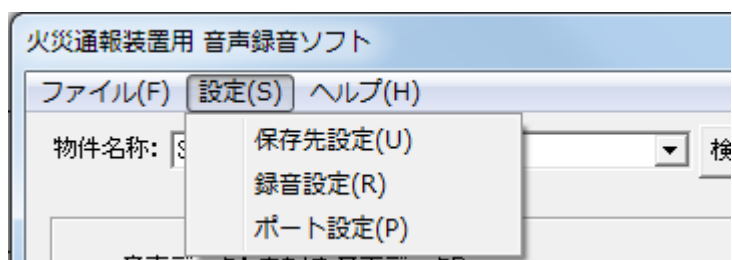
音声を停止した状態で「OK」ボタンをクリックすると「再生」画面を終了します。

10. 物件情報の保存先を変更する

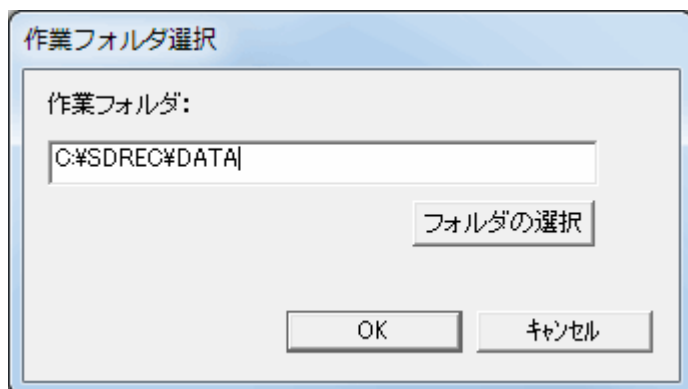
本システムは物件情報の保存フォルダ（以降、作業フォルダとします）を変更することができます。

10-1 「保存先設定」画面を表示する

メイン画面の「設定(S)」ボタンをクリックすると、設定メニューを表示します。

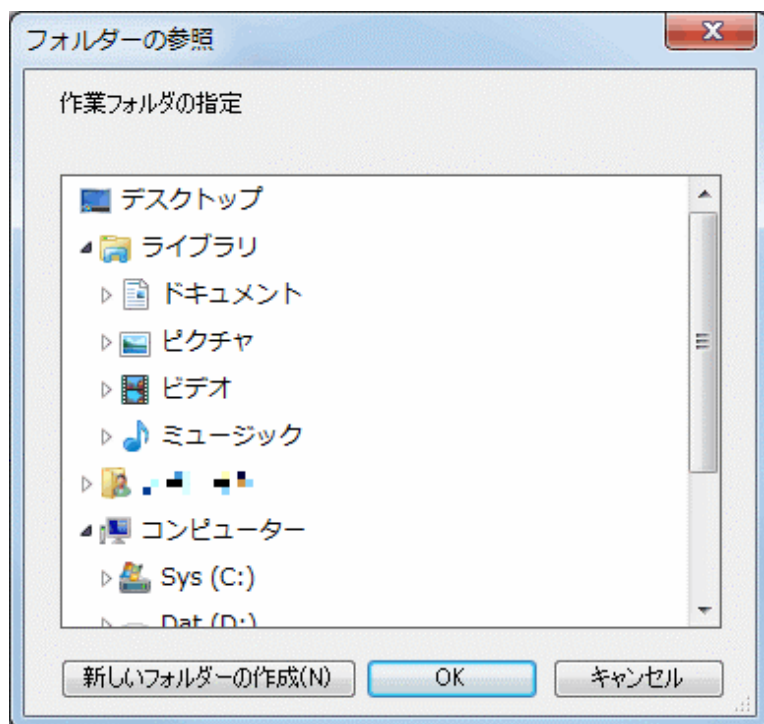


設定メニューから「保存先設定(U)」をクリックすると、「作業フォルダ選択」画面を表示します。



10-2 作業フォルダを選択する

「作業フォルダ選択」画面にて、「フォルダの選択」ボタンをクリックすると、「フォルダーの参照」画面を表示します。



「OK」ボタンをクリックすると選択したフォルダのパスが「作業フォルダ選択」画面に反映されます。

10-3 保存先の変更

「作業フォルダ選択」画面にて作業先のパスを入力し「OK」ボタンをクリックすると保存先を変更します。



注) 作業先のパスはドライブ名を含むフルパスで指定してください。

○ 保存先の変更を取り消したい場合

「キャンセル」ボタンをクリックすると保存先の変更を取り消します。

こんな場合は……

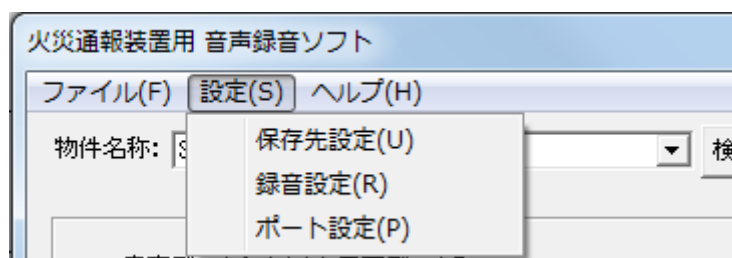
- ・ 「作業フォルダが見つかりません。新しいフォルダを作成しますか？」と表示される
「いいえ(N)」をクリックして作業フォルダの変更をキャンセルするか、「はい(Y)」をクリックして作業フォルダを新規作成します。
- ・ 「作業フォルダの指定が間違っているか、C:\Program Files 配下のパスを指定しています。」と表示される
 - ・ 作業フォルダのパスには、絶対パスを入力する必要があります。相対パスを入力していませんか？
 - ・ 作業フォルダのパスには、“C:\Program Files”配下のパスを指定できません。フォルダの保存先を変更してください。

11. 入カソース／ボリューム／ディレイ時間を設定する

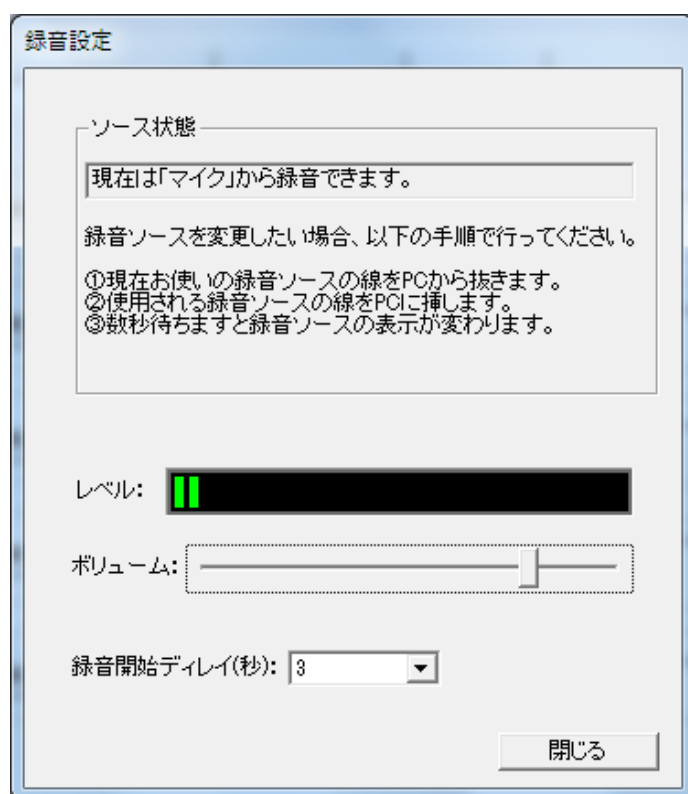
本ソフトから録音ソース(マイク／ライン入力)の確認、録音ボリューム／録音ディレイ時間の設定を行なうことができます。

11-1 「録音設定」画面を表示する

メイン画面の「設定(S)」ボタンをクリックすると設定メニューを表示します。

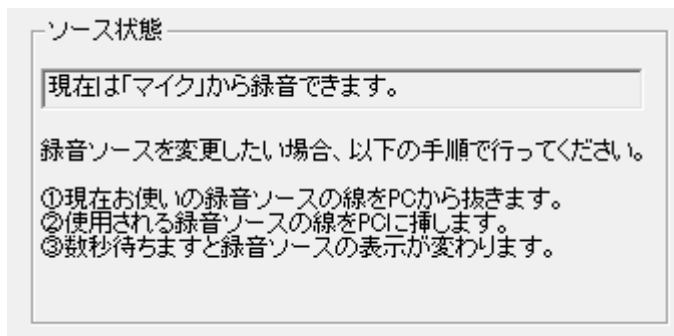


「設定」メニューから「録音設定(R)」をクリックすると「録音設定」画面を表示します。



1 1-2 録音ソースを変更する

現在の録音ソース状態を表示します。

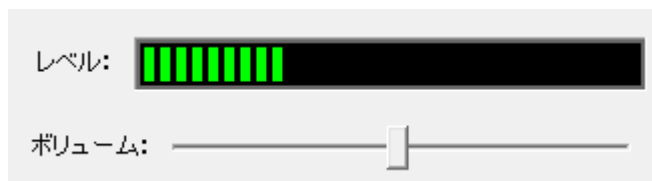


○ 録音ソースを変更したい場合

変更を行うには、ソース状態の①～③の操作を実施してください。

1 1-3 ボリュームを変更する

録音時のマイクのボリュームを変更します。

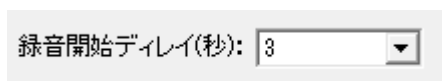


「ボリューム」スライドバーで入力レベルを調整できます。マイクに向かって話しながら、レベルを参照し調整を行ってください。

1 1-4 録音開始ディレイ時間を変更する

「録音開始ディレイ」のプルダウンメニューから録音開始ディレイ時間を設定します。

録音時には、「録音」ボタンをクリックしてから録音開始ディレイ時間にて設定された時間経過後、録音を開始します。



設定時間は下記の通りです。

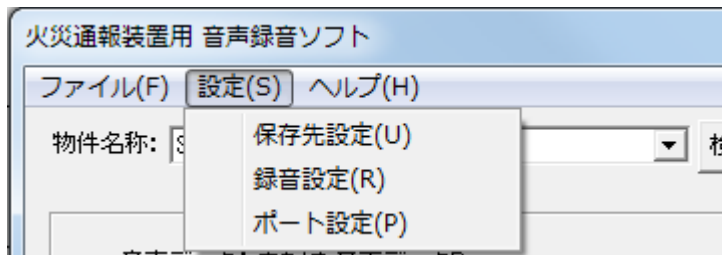
- 0・・・ディレイ時間なし録音ボタンクリック後、すぐに録音を開始します。
- 1・・・「録音」ボタンクリック後、1秒後に録音を開始します。
- 2・・・「録音」ボタンクリック後、2秒後に録音を開始します。
- 3・・・「録音」ボタンクリック後、3秒後に録音を開始します。
- 4・・・「録音」ボタンクリック後、4秒後に録音を開始します。
- 5・・・「録音」ボタンクリック後、5秒後に録音を開始します。

12. ポート(RS-232C)を設定する

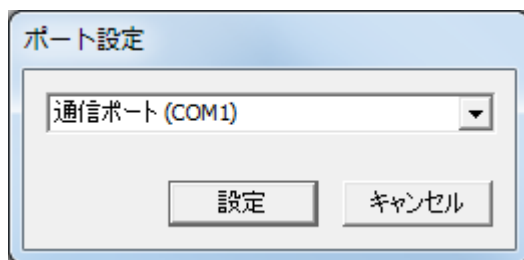
本システムから火災通報装置とRS-232Cで接続する通信ポートの設定を行うことができます。

12-1 「ポート設定」画面を表示する

メイン画面の「設定(S)」ボタンをクリックすると、設定メニューを表示します。



設定メニューから「ポート設定(P)」をクリックすると「ポート設定」画面を表示します。



12-2 ポートを変更する

「ポート設定」画面のプルダウンメニューから現在使用可能な通信ポートが選択できます。

実際に火災通報装置と接続するポートを選択して「設定」ボタンをクリックします。

○ ポート設定を取り消したい場合

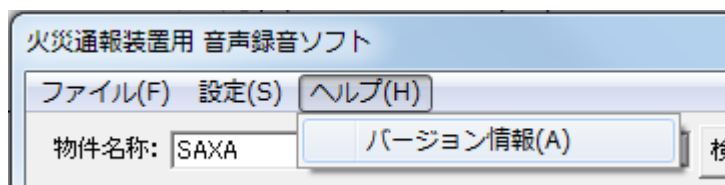
「キャンセル」ボタンをクリックするとポート設定を取り消します。

こんな場合は……

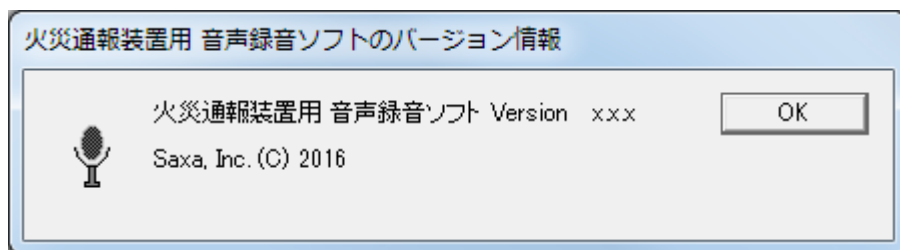
- ・ プルダウンメニューにポート名が表示されない
使用可能なポートがありません。RS-232Cポートがない場合はUSBシリアル変換ケーブルを接続してください。

13. ソフトバージョンを確認する

メイン画面の「ヘルプ」メニューから「バージョン情報(A)」を選択すると、「火災通報装置用 音声録音ソフトのバージョン情報」画面を表示します。



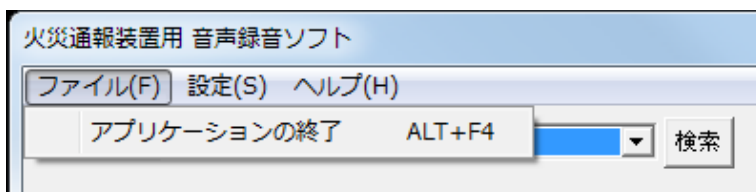
「火災通報装置用 音声録音ソフトのバージョン情報」画面にはソフトのバージョンとコピーライトを表示します。



「火災通報装置用 音声録音ソフトのバージョン情報」画面を終了する場合は「OK」ボタンをクリックします。

14. 火災通報装置用 音声録音ソフトを終了する

メイン画面の「ファイル(F)」ボタンをクリックして、ファイルメニューから「アプリケーションの終了 ALT+F4」を選択すると、本システムを終了します。



【保守サービスのご案内】

本ソフトのお問い合わせについては、お客様相談室(0570-001-393)へお問い合わせください。